

福島県浜通り地域における
物流問題の解決に向けた調査事業

報告書

平成31年3月
株式会社富士通総研

目 次

第1章 業務の目的と概要	1
1-1 業務の背景と目的.....	1
1-2 業務の実施ステップ.....	1
1-3 業務の実施体制.....	2
第2章 大手業者と地元業者の連携に向けた実態調査	3
2-1 アンケート調査.....	3
2-2 「出会いの場」の開催結果.....	34
2-3 実態調査の総括.....	40
第3章 大手業者と地元業者の具体的連携の検討	41
3-1 大手業者 自社拠点発着の「委託協力会社」を増強させる検討.....	41
3-2 大手業者・地元業者間の拠点共同活用も視野に入れた リレー輸送ネットワークなどを構築させる検討.....	42
3-3 物流子会社の既存輸送ネットワークに組み込みをさせる検討.....	43
第4章 まとめ	44
4-1 大手業者・地元業者の連携に向けた「課題」と「解決策」の洗出し.....	44
4-2 12市町村物流課題解決に向けた その他取組み.....	47

第1章 業務の目的と概要

本章では、復興庁事業の目的と概要について説明する。

1-1 業務の背景と目的

「福島12市町村の将来像に関する有識者検討会」において、避難指示などの出た田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村及び飯館村(以下「12市町村」という。)では、本格的な復興・再生に向けた新たなステージを迎え、広域連携の観点から、将来像の実現を更に加速化するためのテーマに関係者が協力して集中的に取り組むことが述べられた。

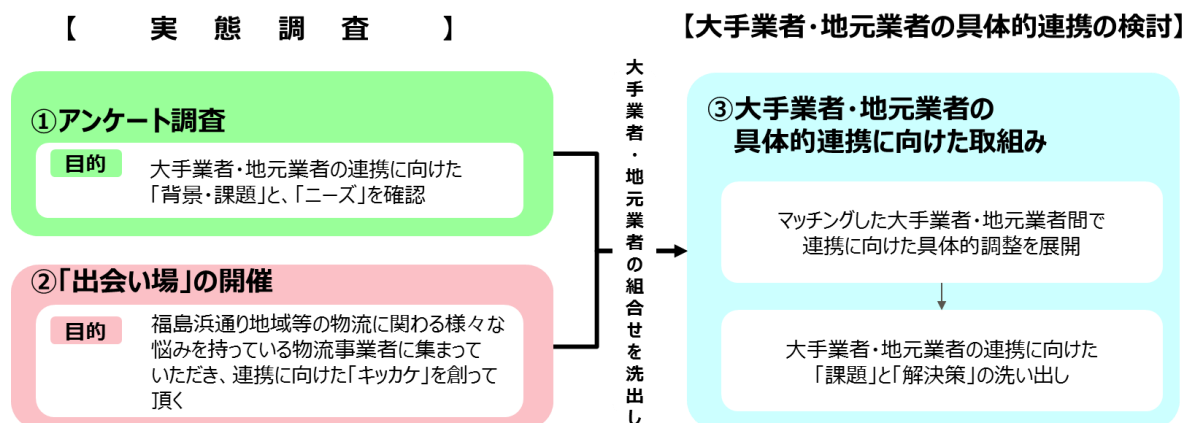
この中で、福島県浜通り地域等における物流課題の実態把握・解決案の検討を行うこととされており、本調査では大手配送事業者(以下「大手業者」という。)と地元の中小配送事業者(以下「地元業者」という。)の連携を促進するために必要な情報収集等を行う。

〔参考〕「第13回福島12市町村の将来像提言に関する有識者検討会」資料4より抜粋

- ◆避難指示の解除が進展し、さまざまな支援措置により企業立地は進んでいる一方、地場の配送事業者の避難・廃業やドライバーの不足等を背景として、一部地域への集配送が行われていない、あるいは、従来どおりの条件での配送サービスの維持が難しくなっており、立地企業や自治体からは、それらの解決を求める声が高まっている。
- ◆立地企業の継続的な事業活動を後押しし、また、今後浜通り地域へのさらなる企業立地を進めていく中で、物流がそのボトルネックとならないよう、具体的な解決策を検討する必要がある。

1-2 業務の実施ステップ

大手業者と地元業者の連携を促進するために必要な情報収集等を行った実施ステップを図表1-2に示す。



図表 1-2 業務の実施ステップ

①アンケート調査の概要…詳細は、報告書「第2章 2.1.アンケート調査結果」参照

大手業者向けのアンケート調査と、地元業者向けのアンケート調査を実施。

- ◆大手業者：17社にアンケート送付
特別積合わせ事業者・宅配事業者、食品/飲料などの物流を担う貨物運送事業者、浜通り地域の製造業の物流を担う物流子会社などに送付。
- ◆地元業者：601社にアンケート送付
福島県トラック協会様の会員企業848社※の7割の企業に送付。
※平成31年10月時点

②「出会いの場」の開催…詳細は、報告書「第2章 2.2.「出会いの場」の開催結果」参照
平成30年12月10日、福島県トラック協会白河の関トラックステーションで開催

◆主催：復興庁・福島県トラック協会様

◆参加社数：大手業者 4社(5名) 地元業者 6社(10名)

合計：10社(15名)

注：福島相双復興推進機構様も、オブザーバーとしてご参加

◆進行：※主催者 挨拶

※意見交換

※成立したマッチング/組合せの確認

③大手業者・地元業者の具体的な連携に向けた取り組み

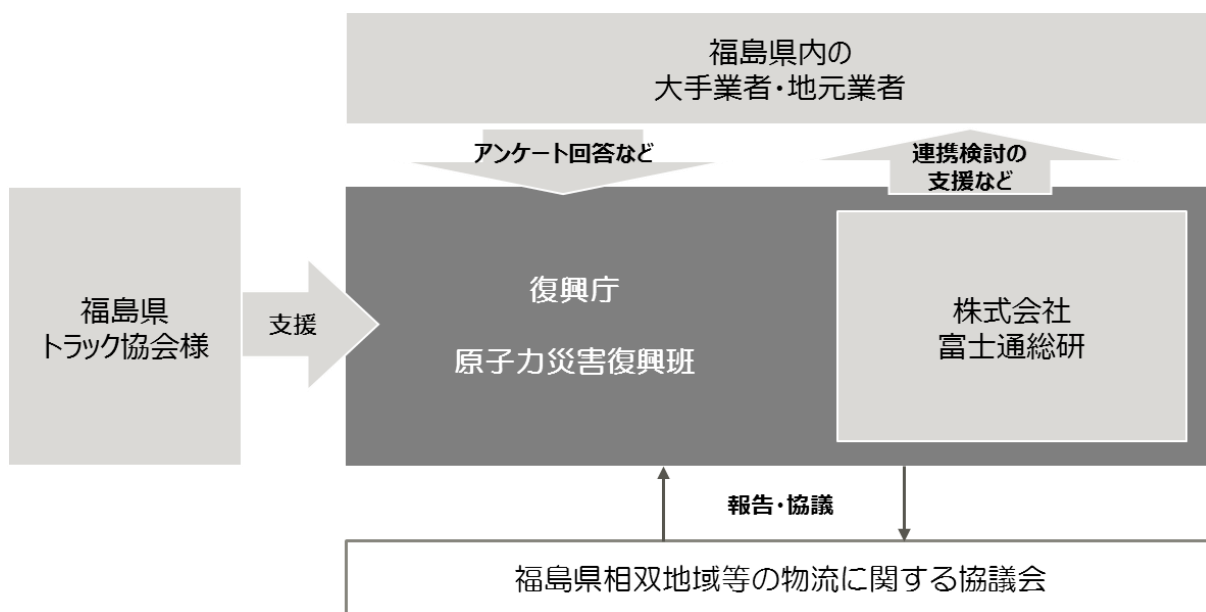
…詳細は、報告書「第3章 大手業者・地元業者の具体的な連携検討」参照

アンケート調査、「出会いの場」の開催等を通じて、連携をして頂ける可能性のある大手業者・地元業者間の連携に向けた具体的な調整を支援。

併せて、大手業者・地元業者連携に向けた「課題」と「解決策」を、インタビューを通じて収集。

1-3 業務の実施体制

事業の実施体制を図表 1-3 に示す。



図表 1-3 事業の実施体制

第2章 大手業者と地元業者の連携に向けた実態調査

2-1 アンケート調査

2-1-1 アンケート調査実施概要

以下の要領にてアンケート調査を実施した。

アンケート名 : 福島県浜通り地域における物流問題解決に向けた調査事業アンケート

実施期間 : 2018年11月5日(月) ~ 2018年12月4日(火)

調査方法 : 下記の条件で選定した618事業者に、郵送配布、郵送回答
一部の回答については、電話にて回答内容の確認を実施

アンケート送付先選定条件 :

大手業者 下記の3つの観点から、17社を選定し、送付

- ① 浜通り地域の今後の発展を支える、
「物流ネットワーク網」を有する大手特積・宅配事業者 ⇒8社
- ② 「帰還被災者の生活」を支える、
食品・飲料など物流を担う大手貨物運送事業者 ⇒7社
- ③ 浜通り地域の製造業の物流を担う大手貨物運送事業者 ⇒2社

地元業者 福島県トラック協会加盟のトラック事業者(848社)のうち、

下記の条件に従って**601社**を選定し、送付

- ・引越業者/霊柩車を生業とする事業者は対象外とする
- ・会津支部に加盟する事業者は対象外とする
- ・大手業者の支店、営業所は対象外とする
- ・12市町村の隣接地域にある支部を重点的に調査する

(いわき、県中、相双支部については全ての事業者を対象とした。)

いわき支部	県中支部	県南支部	県北支部	相双支部	総計
171	268	26	47	89	601

2-1-2 アンケート調査項目

地元業者・大手業者へのアンケート項目は、下表に示す、双方相対した質問項目で構成した。

地元業者向けの「アンケート項目」			大手業者向けの「アンケート項目」		
問	内容	詳細	問	内容	詳細
1	事業概要	●車種別のトラック保有台数 ●主として取り扱う品目の「分類」と「特性」 ●12市町村内で保有している物流拠点	1	事業概要	●車種別のトラック保有台数 ●取扱い品目の「分類」と「特性」
2	認識課題	● 集配物流 の認識課題は？ ● 幹線運行 の認識課題は？ ● 拠点運営 の認識課題は？ ● その他の認識課題 は？	2	認識課題	● 集配物流 の認識課題は？ ● 幹線運行 の認識課題は？ ● 拠点運営 の認識課題は？ ● その他の認識課題 は？
3	大手業者との連携希望	●大手業者と 連携を希望する 【連携内容】 ① 集配物流 で連携 ② 幹線運行 で連携 ③ 拠点共同活用 で連携 ④その他 ●大手業者と 連携を希望しない ■希望しない理由	3	地元業者との連携希望	●地元業者との 連携を希望する 【連携内容】 ① 集配物流 で連携 ② 幹線運行 で連携 ③ 拠点共同活用 で連携 ④その他 ●地元業者との 連携を希望しない ■希望しない理由
4	大手業者と連携する為のマッチング要件 ※大手業者との連携を希望した企業のみ回答	① 集配物流 で連携できるマッチング要件 連携できる 集配エリア・品目(特性) ② 幹線運行 で連携できるマッチング要件 連携できる 国内エリア・品目(特性) ③ 拠点共同活用 で連携できるマッチング要件 連携できる 拠点立地エリア	5	地元業者と連携する為のマッチング要件 ※地元業者との連携を希望した企業のみ回答	① 集配物流 で連携する為のマッチング要件 連携したい 集配エリア・品目(特性) ② 幹線運行 で連携する為のマッチング要件 連携したい 国内エリア・品目(特性) ③ 拠点共同活用 で連携する為のマッチング要件 連携したい 拠点立地エリア
5	大手業者との連携に向けた障壁要因を自由記述		6	地元業者との連携に向けた障壁要因を自由記述	

【地元業者】

送付した 601 社のうち、以下の事業者から回答を頂いた。

	いわき支部	県中支部	県南支部	県北支部	相双支部	不明	総計
送付先数	124	179	125	109	64		601
回答数	21	32	2	6	12	4	77
回答率	16.9%	17.9%	1.6%	5.5%	18.8%		12.8%

【ご参考：アンケートに回答しなかった/できない理由・・・個別に連絡頂いた企業】

A：12市町村の配送をしていない。

- ・12市町村は集配を実施していない。予定もない・・・いわき市・郡山市等

B：その他

- ・配送サービスなどの低下は、災害に関係なく、自分たちで対応するべき・・・本宮市

【大手業者】

送付した 17 社のうち、以下の 8 社の事業者から回答を頂いた。

No	回答企業の特性	企業名
1	①大手特積・宅配事業社	A社
2	①大手特積・宅配事業社	B社
3	①大手特積・宅配事業社	C社
4	①大手特積・宅配事業社	D社
5	①大手特積・宅配事業社	E社
6	②食品・飲料など物流を担う大手貨物運送事業者	F社
7	②食品・飲料など物流を担う大手貨物運送事業者	G社
8	③浜通り地域の製造業の物流を担う大手貨物運送事業者	H社

2-1-4 回答企業の事業概要について

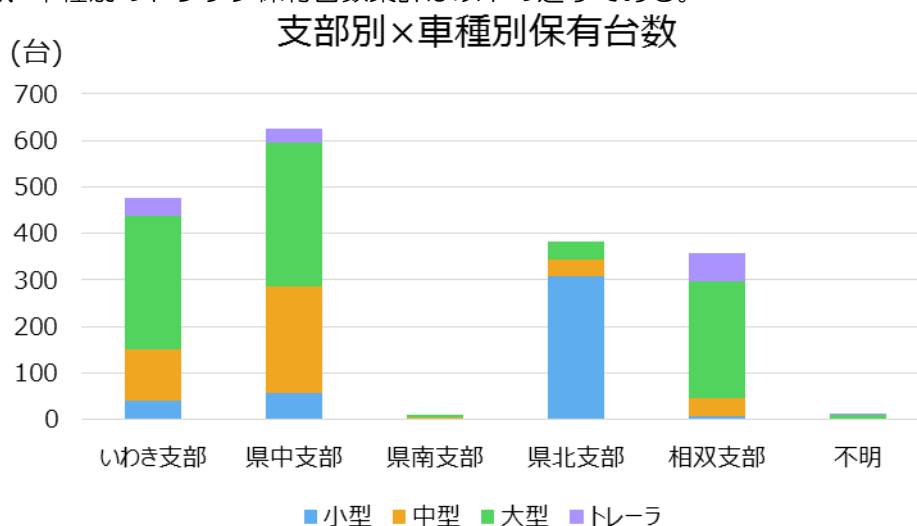
——車種別トラック保有台数について——

【地元業者】

支部別、台数レンジ別のトラック保有企業数集計は以下の通りである。

	いわき支部	県中支部	県南支部	県北支部	相双支部	不明	総計	(社)
1-4台	0	0	1	0	1	0	2	
5-9台	4	15	1	1	2	0	23	
10-19台	6	6	0	2	3	1	18	
20-49台	9	9	0	2	3	0	23	
50-99台	2	0	0	0	1	0	3	
100台以上	0	1	0	1	1	0	3	
未回答	0	1	0	0	1	3	5	
総計	21	32	2	6	12	4	77	

支部別、車種別のトラック保有台数集計は以下の通りである。



【大手業者】

事業者別のトラック保有数集計は以下の通りである。

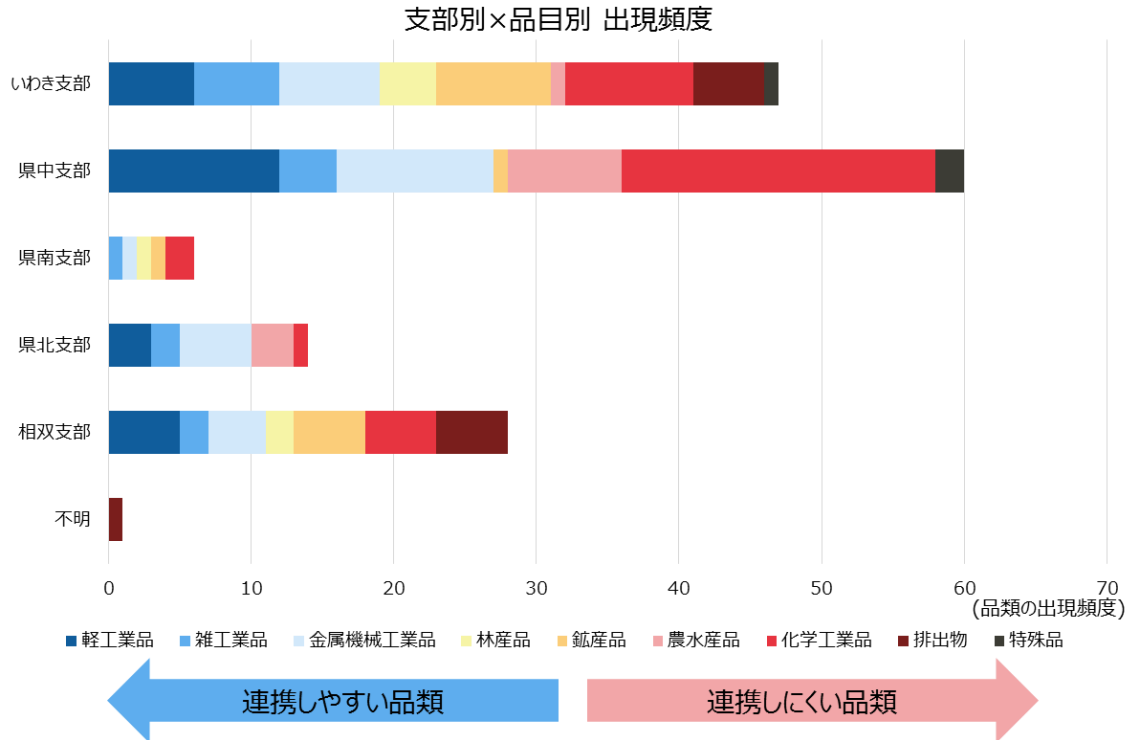
No	企業名	小型	中型	大型	トレーラ	合計	(台)
1	A社	59	109	91	8	267	
2	B社	41	77	83	20	221	
3	C社	548	1,642	1,308	254	3,752	
4	D社	655	20	24	16	715	
5	E社	67				67	
6	F社	5		12		17	
7	G社	19	11	8		38	
8	H社	79	139	128		346	

——取り扱う品目の分類と特性について——

【地元業者】

支部別、品類別の出現頻度は以下の通りである。

※左側（青系の色）のバーであるほど、集配、幹線、拠点共同活用にて比較的連携しやすい品目を取り扱っていることを示し、右側（赤系の色）のバーであるほど、比較的連携しにくい品目を取り扱っていることを示す。



全回答を品類、輸送時荷姿、温度帯、臭い、汚れ、連携しやすいパターンの数※、で集計する
 ※「連携しやすいパターン」とは、輸送時荷姿が「パレット積」であり、かつ温度帯が「常温」であり、かつ臭いが「なし」であり、かつ汚れが「なし」であると回答した品類。つまり、大手業者との連携実現に向けた可能性のある回答。

（回答件数）

品類	輸送時荷姿	温度帯		臭い		汚れ		連携しやすい パターンの数
		件数	温度帯	件数	臭い	件数	汚れ	
金属機械工業品	パレット積	11	常温	26	あり	0	あり	11
	バラ積	12	冷蔵	0	なし	28	なし	
	パレット積・バラ積	3	冷凍	0	あり・なし	0	あり・なし	
	その他	1	常温・冷蔵	0	未回答	0	未回答	
	未回答	1	冷蔵・冷凍	0				
軽工業品	パレット積	10	常温	17	あり	0	あり	9
	バラ積	9	冷蔵	2	なし	26	なし	
	パレット積・バラ積	5	冷凍	2	あり・なし	0	あり・なし	
	その他	0	常温・冷蔵	1	未回答	0	未回答	
	未回答	2	冷蔵・冷凍	1				
化学工業品	パレット積	11	常温	32	あり	14	あり	5
	バラ積	18	冷蔵	0	なし	19	なし	
	パレット積・バラ積	2	冷凍	0	あり・なし	1	あり・なし	
	その他	0	常温・冷蔵	2	未回答	5	未回答	
	未回答	8	冷蔵・冷凍	0				
			常温・冷蔵・冷凍	0				
			未回答	5				

品類	輸送時荷姿	温度帯	臭い	汚れ	連携しやすい パターンの数
林産品	パレット積	3 常温	6 あり	3 あり	2
	バラ積	4 冷蔵	0 なし	4 なし	5
	パレット積・バラ積	0 冷凍	0 あり・なし	0 あり・なし	0
	その他	0 常温・冷蔵	0 未回答	0 未回答	0
	未回答	0 冷蔵・冷凍	0		
		0 常温・冷蔵・冷凍	0		
特殊品	パレット積	2 常温	3 あり	0 あり	0
	バラ積	1 冷蔵	0 なし	3 なし	3
	パレット積・バラ積	0 冷凍	0 あり・なし	0 あり・なし	0
	その他	0 常温・冷蔵	0 未回答	0 未回答	0
	未回答	0 冷蔵・冷凍	0		
		0 常温・冷蔵・冷凍	0		
雑工業品	パレット積	3 常温	13 あり	1 あり	1
	バラ積	8 冷蔵	0 なし	13 なし	13
	パレット積・バラ積	3 冷凍	0 あり・なし	0 あり・なし	0
	その他	0 常温・冷蔵	0 未回答	1 未回答	1
	未回答	1 冷蔵・冷凍	0		
		0 常温・冷蔵・冷凍	0		
	未回答	2			

品類	輸送時荷姿	温度帯	臭い	汚れ	連携しやすい パターンの数
鉱産品	パレット積	2 常温	11 あり	4 あり	7
	バラ積	9 冷蔵	0 なし	10 なし	7
	パレット積・バラ積	2 冷凍	0 あり・なし	0 あり・なし	0
	その他	0 常温・冷蔵	0 未回答	1 未回答	1
	未回答	2 冷蔵・冷凍	0		
		0 常温・冷蔵・冷凍	0		
農水産品	パレット積	5 常温	3 あり	2 あり	2
	バラ積	4 冷蔵	6 なし	10 なし	10
	パレット積・バラ積	3 冷凍	0 あり・なし	0 あり・なし	0
	その他	0 常温・冷蔵	2 未回答	0 未回答	0
	未回答	0 冷蔵・冷凍	1		
		0 常温・冷蔵・冷凍	0		
排出物	パレット積	1 常温	8 あり	2 あり	7
	バラ積	8 冷蔵	0 なし	8 なし	3
	パレット積・バラ積	0 冷凍	0 あり・なし	0 あり・なし	0
	その他	0 常温・冷蔵	0 未回答	1 未回答	1
	未回答	2 冷蔵・冷凍	0		
		0 常温・冷蔵・冷凍	0		
	未回答	3			

【大手業者】

事業者別の取扱品類・荷姿・温度帯・臭い・汚れの一覧は以下の通りである。

企業名	品類	荷姿	温度帯	臭い	汚れ	連携しやすい パターンの数
A社	化学工業品	パレット積・バラ積	常温	なし	なし	2
	軽工業品	バラ積	常温	なし	なし	
	特殊品（積み合わせ）	パレット積・バラ積	常温	なし	なし	
B社	軽工業品	バラ積	常温・冷蔵・冷凍	なし	なし	1
	雑工業品	バラ積	常温	なし	なし	
	金属機械工業品	パレット積・バラ積	常温	あり・なし	あり・なし	
C社	特殊品（積み合わせ）	パレット積・バラ積	常温	なし	なし	1
D社	特殊品（積み合わせ）	バラ積	常温・冷蔵・冷凍	なし	なし	0
E社						0
F社	農水産品	バラ積	常温	なし	なし	0
	化学工業品	バラ積	常温	あり	なし	
G社	農水産品					0
	軽工業品					
H社	金属機械工業品	パレット積・バラ積	常温	なし	なし	3
	軽工業品	パレット積・バラ積	常温	なし	なし	
	雑工業品	パレット積・バラ積	常温	なし	なし	

※空欄は無回答

事業者別の貨物流動量は以下の通りである。（集配物量:平均物量の降順とした）

企業名	集配物流		幹線運行		
	平均物量 (トン/日)	平均稼働 車両数 (台/日)	平均物量 (トン/日)	平均稼働 車両数 (台/日)	主な国内運行エリア
D社	80	40	650	660	全国
C社	60	24			東日本（近畿以西）
A社	51.5	15	660	113	全国
H社	25	7	5	1	関東
F社	17	1			関東・関西・九州（協力会社）
G社	7	3	7	3	郡山
B社					
E社					

※空欄は無回答

——物流拠点について——

【地元業者】

市町村別の拠点数及び施設の特徴は以下の通りである



分類別物流施設数

分類	区分	施設数
面積	0～100坪	2
	100～200坪	4
	200～300坪	2
	300坪～	18
	不明	1
屋根の有無	あり	13
	なし	7
	不明	7
バース構造	低床	3
	高床	2
	不明	22

左グラフ「その他」の市町村の詳細

市町村	施設数
いわき市	10
郡山市	4
本宮市	4
田村郡三春町	1
伊達市	1
田村郡小野町	1
相馬市	1
保原町	1

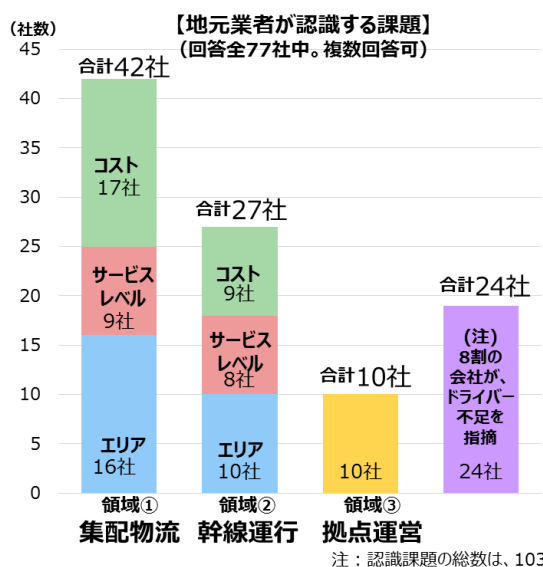
2-1-5 回答企業の認識課題について 【地元業者】

地元業者が認識している12市町村の物流に関する課題を、下の3つの領域から確認した。

- 領域①：「集配物流」に関わる課題
- 領域②：「幹線運行」に関わる課題
- 領域③：「拠点運営」に関わる課題

更に領域ごとに認識している課題を、以下の3つの分類ごとに整理した。

- ・「エリア」に関わる課題（対応できないエリアがある等）
- ・「サービスレベル」に関わる課題（時間指定ができない等）
- ・「コスト」に関わる課題（荷量がすくなく収益性が悪い等）



側面	分類	回 答 (抜粋)
集配	エリア	1 田村・川俣・南相馬の依頼はくるものの 頻度/荷量/単価が低く、対応できない。 2 大熊町・双葉町などの配送依頼はあるものの、応じられない地域がある。 3 双葉町などが配送できない。 4 富岡はチャーターでしか対応できない。 5 得意先が廃業で、集配配送件数が減少。 6 納入先(新聞販売店)が再開できてない。
	サービス	7 いわき市にしか拠点がなく、また集配車数が少なく、荷主要望に応えられない。 8 人/車両がおらず、100%、荷主の要望に応えられない。 9 通常エリア外としているので、荷主への請求輸送料が割高となる。 10 富岡はチャーターで対応しているため、荷主への請求は割高。
	コスト	11 集配車両の積載率が低く、収益性が悪い。 12 積み荷の出来が遅く、収益性が悪い。 13 いわき市に拠点があるが、往復に時間がかかりコスト高。 14 高速コストが高く、一方、運賃が低い事から収益性が悪い。 15 大手企業が、運賃を下げ、荷主から貨物を獲得するので、運賃が低く、収益性が悪い。 16 燃料高騰による運賃改定をお願いしても、良い回答をもらえない。 ・貸し切り/割り増し運賃でもらっているため、問題なし。 ・チャーター料金をもらっている。
幹線	エリア	17 片荷運行となっており、戻りの貨物がない。 18 関西/九州方面の運行がコスト高できていない。 19 そもそも運行コンプライアンスがきつく、長距離運行はできていない。
	サービス	20 ドライバー不足、備車不足で、指定された日の運行を変更している ・東北中央道の利用により、相馬方面が容易となった。
	コスト	21 積載率が低く、収益性が悪い。 22 運賃が低い面、高速道路負担がある。 23 大手企業が、運賃を下げ、荷主から貨物を獲得するので、運賃が低く、収益性が悪い。
拠点		24 拠点への道路状況が悪く、運行上のネックがある。 25 自社倉庫(本宮市)は満庫であるものの、保管料などが低く 収益性が悪い。

※青字は好意的な意見として頂いたもの。

【大手業者】

大手業者が認識している12市町村の物流に関する課題を、下の3つの領域から確認した。

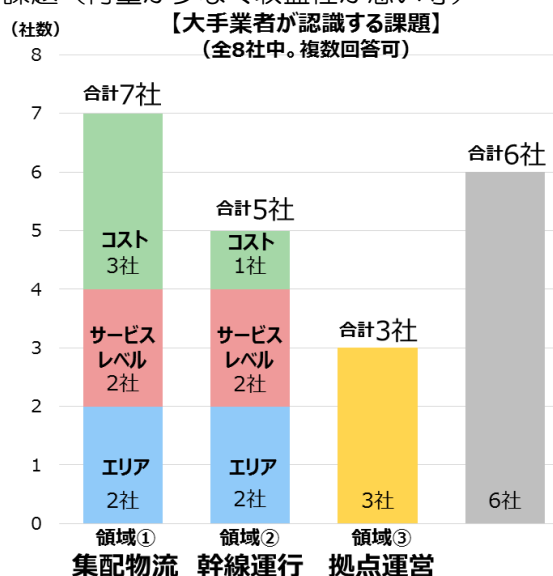
領域①：「集配物流」に関わる課題

領域②：「幹線運行」に関わる課題

領域③：「拠点運営」に関わる課題

更に領域ごとに認識している課題を、以下の3つの分類ごとに整理した。

- ・「エリア」に関わる課題（対応できないエリアがある等）
- ・「サービスレベル」に関わる課題（時間指定ができない等）
- ・「コスト」に関わる課題（荷量が少なく収益性が悪い等）



注：認識課題数は21

側面	分類	回答 (抜粋)
集配	エリア	1 引越しなどの一部業務・既存固定荷主業務(食品)以外は、 12市町村全て定期配送は、実施していない。 2 ・富岡/川内/浪江/葛尾は、自社営業所への持ち込み/引き取りのみで、 集配はしていない。 ・南相馬/広野/楢葉は、自社営業所への持ち込み/引き取り会社に加え、 一部地域は集配を実施している。 ・川俣/飯館は、 自車両で集配を実施している。 但し、 田村は協力会社が実施。 3 ・双葉/大熊は、 集配していない。 ・ 上述以外の地域は、チャーターでの対応となる。 但し、 広野は、協力会社が実施。
	サービス	4 協力会社もドライバー不足であり、 時間指定等のサービスが低下している。 5 自社トラックで対応が出来ず、他の 協力会社に依頼するにしても、十分に荷量がない。
	コスト	6 現状の持ち込み/引き取りを協力会社に 委託すると、震災以前よりも割高になる。 ※今、お願いしている協力会社への支払いも、震災前に比較すると割高になっている。
幹線	エリア	7 見えない線量に対する不安がある。
	サービス	8 協力会社もドライバー不足であり、 時間指定等のサービスが低下している。
	コスト	9 輸送業者が少ないため、 料金が嵩む。
拠点		10 ドライバー不足が慢性化している中、荷扱い作業が手作業である。 11 線量に対する不安があり、長い時間、留まる事への不安はある。

2-1-6 回答企業の連携希望について 【地元業者】

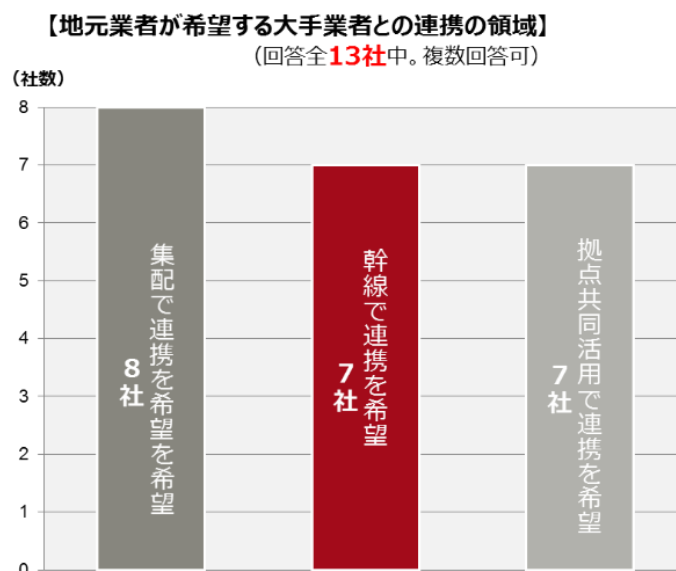
地元業者がどのように大手業者と連携したいか、下の3つの領域から確認した。

領域①：「集配物流」で連携

領域②：「幹線運行」で連携

領域③：「拠点共同活用」で連携

大手業者と連携を希望しない地元業者が多数に上った。



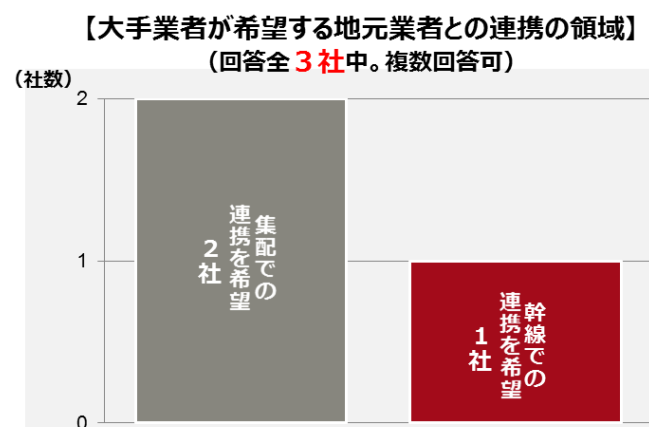
【大手業者】

大手業者がどのように地元業者と連携したいか、下の3つの領域から確認した

領域①：「集配物流」で連携

領域②：「幹線運行」で連携

領域③：「拠点共同活用」で連携



注：地元業者との連携に向けた社内稟議に時間を要するため、現時点では、社内検討中と回答の企業が1社あり。

2-1-7 回答企業の連携するためのマッチング要件について ——集配物流での連携について——

地元業者と大手業者が、集配物流で連携したい（「集配を任せたい」または「集配を引き受けたい」）エリアを確認した。

- 地元業者と大手業者で「任せたい」「引き受けたい」の希望が重なっているエリアがあった。
(=集配物流の連携の潜在性がある)

市町村別には、下表のような回答であった。

	地元業者が集配を		大手業者が集配を	
	引き受けたい	任せたい	引き受けたい	任せたい
飯館村	○	○	-	-
南相馬市	○	○	-	-
川俣町	○	○	-	-
浪江町	○	○	-	B社
葛尾村	○	○	-	B社
田村市	○	○	-	-
双葉町	○	○	-	-
大熊町	○	○	-	-
富岡町	○	○	-	A社, B社
川内村	○	○	-	A社, B社
楡葉町	○	○	-	A社
広野町	○	○	-	-

——幹線運行での連携について——

地元業者と大手業者が、幹線運行で連携したい（「幹線運行を任せたい」または「幹線運行を引き受けたい」）エリアを確認した。

- 地元業者と大手業者で「任せたい」「引き受けたい」の希望が重なっているエリアはなかった。

(=幹線運行の連携の潜在性はない)

地元業者 幹線運行を「大手業者に任せたい」また「大手業者から引き受けたい」との2パターンの回答があった。

大手業者 幹線運行を「地元業者に任せたい」という回答は無し。
すべて「地元業者から引き受けたい」との回答であった。

なお、幹線発着の国内の希望エリアについては、地元業者・大手業者で一致するものはなかった。

——拠点共同活用での連携について——

地元業者と大手業者が、拠点共同活用で連携したい（「拠点を貸したい」または「拠点を借りたい」）エリアを確認した。

- 地元業者と大手業者で「貸したい」「借りたい」の希望が重なっているエリアはなかった。
(=拠点共同活用の連携の潜在性はない)

地元業者 拠点共同活用において、拠点を「大手業者に貸したい」
また「大手業者から借りたい」との2パターンの回答があった。
大手業者 拠点共同活用において、拠点を「地元業者に貸したい・借りたい」との
回答は無し。

業者別には、下表のような回答であった。

【地元業者】

	地元業者が拠点を	
	貸したいエリア	借りたいエリア
地元a社	相馬市	
地元b社		借りたいが、エリアは未定
地元c社	郡山市	いわき市
地元d社	鏡石町	
地元e社	いわき市	
地元f社	いわき市	
地元g社	南相馬市	

【大手業者】

拠点を借りたい・貸したいと回答した大手業者は無し

2-1-8 連携に向けた障害要因について

アンケートを通して、「大手業者・地元業者との連携を希望しない」と回答した事業者に対し、その理由を確認した。

地元業者が、大手業者との連携を希望しない理由…64社

①ドライバー不足(所在地/取扱品目)

- 1:今、ドライバーがいないため、仕事が受けられない。
- 2:人員不足で連携できない
- 3:従業員の高齢化も進んでおり、今現在の仕事で精一杯
- 4:震災後、ドライバーが不足しています
- 5:ドライバーの人材確保が困難である
- 6:求人出しても反応がない
- 7:高卒者の求人をするも、若年の労働者層の応募がない

②現状の業務実態(所在地/取扱品目)

【業態が連携に合致しない】

- 8:鉄道コンテナの集配業務だけしか行っていないため、適合しない
- 9:複数の資格が必要な仕事である
- 10:貨物の取り扱いが、特殊なため
- 11:除去土壌運搬のみの業務なので

【そもそも困っていない】

- 12:復興に関する問題点は、別がない
- 13:今でも顧客からの要請には応えられている。12 町村エリアではないが、仕事は今でも十分にある状況
- 14:課題なし(集配/幹線ともに、課題欄は全て「該当なし」)

③その他(所在地/取扱品目)

- 15:大手と連携すると、無理難題を押し付けられる。
- 16:大手の会社ほど、元請けと傭車という関係を強調してくる。
長時間の運行など、面倒な荷主への納品を依頼してくる
- 17:大手と連携は、運賃/運行時間帯など、障壁がある
- 18:大手と連携したら、価格面が心配

大手業者が、地元業者との連携を希望しない理由・・・4社

①連携したい協力会社のエリア性

- 1:現在、仙台北部にある自社物流センターから、東北6県は配送している。
- 2:現在、協力会社は、仙台エリアの運送事業者をお願いしており、特に困っていない。
- 3:今後、増やす場合も、仙台エリアの協力会社と連携したい。

②協力会社への支払いが割高

- 4:正直なところ、現状維持で行きたいと考えている。
※現在は、2社の協力会社に、南相馬・双葉郡・田村の配送を固定(定期)委託。
- 5:地元業者と新たに連携しても、震災前の料金体系には戻り得ず、割高になる可能性がある。但し、今回の調査事業で行う実験に内容が整理されたら、相談はさせて頂きたい。

③その他

- 6:既に、福島県内約50社と契約締結し、連携を図っている。

2-1-9 参考資料

調査に使用した以下の資料を次頁から掲載する。

- 大手業者向けアンケート調査票
- 地元業者向けアンケート調査票
- 品類・品目分類表

企業名:

住所:

従業員数:

記入者氏名:

記入者部署名:

記入者役職名:

記入者TEL:

問1. 貴社の事業概要について

問1-1. 貴社の保有する車種別のトラック保有台数について、下表にお答えください。

車種	台数	車両設備等の特性(ウイング車・冷凍冷蔵車など自由記述)
小型トラック	台	
中型トラック	台	
大型トラック	台	
トレーラー	台	

問1-2. 貴社が主として取り扱う品目の「分類」と「特性」について、下表にお答えください。

No.	品目種別(※)	輸送時荷姿	温度帯	臭い	汚れ
例	自動車部品	パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
1		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
2		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
3		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
4		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
5		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし

※『品目種別』は、同封の品類・品目分類表に記載されている「品目名」を記載願います。

問2. 貴社の12市町村※における運送状況

※田村・南相馬・川俣・広野・檜葉・富岡・川内・大熊・双葉・浪江・葛尾・飯館

問2-1. 貴社の貨物流動量について、下表にお答えください。

12市町村内の「集配物流」		12市町村外への「幹線運行」	
平均物量	例: 50トン/日 トン/日	平均物量	例: 100トン/日 トン/日
平均稼働車両数	例: 10台/日 台/日	平均稼働車両数	例: 20台/日 台/日
		主な国内運行エリア	例: 関東・九州

問2-2. 12市町村内での集配サービスレベルについて、下表にお答えください。

No.	市町村	集配の可・不可	左で”可”と回答した市町村のうち、 集配サービスレベルに条件を付けている場合はその内容を記載
例	田村市	<input checked="" type="radio"/> 可・不可	配送の時刻指定ができない。隔日など、低頻度の集荷である。
1	田村市	可・不可	
2	南相馬市	可・不可	
3	川俣町	可・不可	
4	広野町	可・不可	
5	檜葉町	可・不可	
6	富岡町	可・不可	
7	川内村	可・不可	
8	浪江町	可・不可	
9	葛尾村	可・不可	
10	飯館村	可・不可	
11	大熊町	可・不可	
12	双葉町	可・不可	

問2-3. 12市町村内での集配物流で、すでに連携済みの福島県地元業者がございましたらお答えください。

地元業者名	連携の内容
例: 浜通復興運送	例: 12市町村における共同配送を実施している。

問 3. 貴社の認識課題について

問3-1. 12市町村内の集配物流における認識課題について、下表にお答えください。

エリアに 関わる課題	例: 双葉町など一部配送ができない地域がある。
サービスレベルに 関わる課題	例: 荷主から毎日の集荷を求められているが、応えられない。
コストに 関わる課題	例: 集配車両の積載率が低く、収益性が悪い。

問3-2. 12市町村発着の幹線運行における認識課題について、下表にお答えください。

エリアに 関わる課題	例: 山陰エリアへの幹線運行ができていない。
サービスレベルに 関わる課題	例: 関西エリアへの幹線運行が毎日運行できず、隔日運行になっている。
コストに 関わる課題	例: 幹線車両の積載率が低く、収益性が悪い。

問3-3. 12市町村対応の集配物流拠点の立地の認識課題について、自由記述でお答えください。

例: 広野町での集配頻度が高いが、現地の集配を充分に対応できる立地に物流拠点が無い。

問3-3. その他の認識課題について、自由記述でお答えください。

例: ドライバーの人材確保が困難である。

問4. 貴社の課題解決施策について

問4-1. 問3でお答えの認識課題の解決施策として、**福島県地元業者との連携**(集配物流・幹線運行・拠点共同活用)を行うことの希望はありますか? 該当する番号(複数選択可)に○印をつけて下さい。またその理由をご記入下さい。

☆☆各々の連携例について、次頁に記載しておりますのでご参考ください☆☆

1. 地元業者と、**集配物流**での連携を希望する

○をつけた理由:

2. 地元業者と、**幹線運行**での連携を希望する

○をつけた理由:

3. 地元業者と、**拠点共同活用**での連携を希望する

○をつけた理由:

4. 地元業者と、**その他方式**での連携を希望する

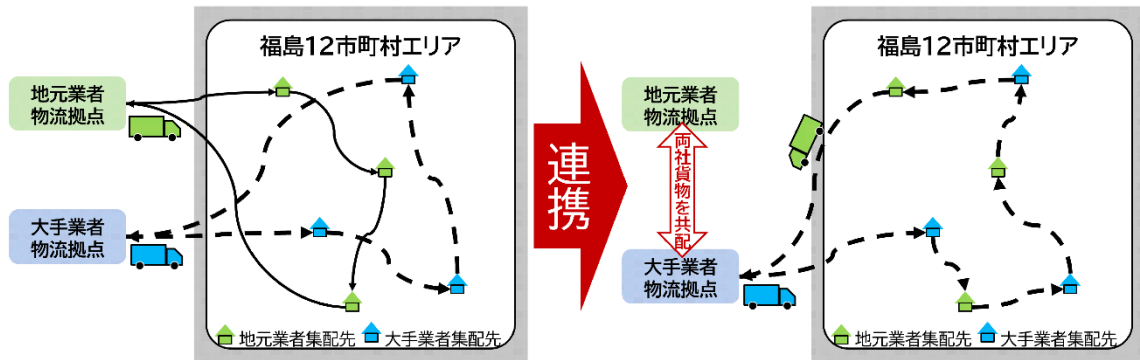
○をつけた場合、連携の内容:

5. 地元業者との**連携を希望しない**。

○をつけた理由:

参考：連携の一例

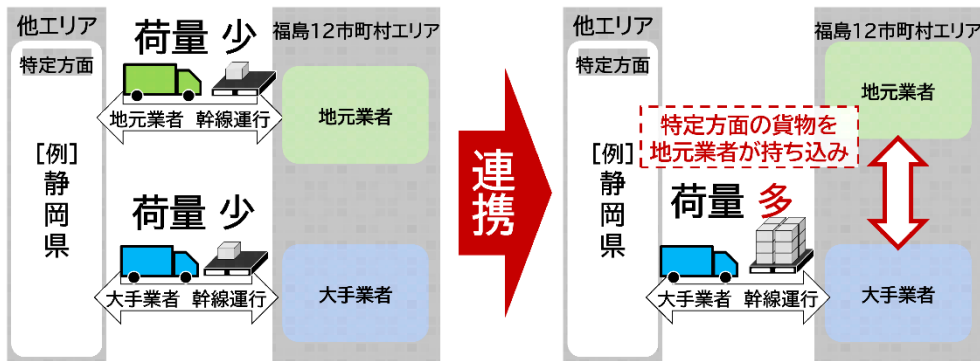
1. 集配物流での連携の一例



ポイント

大手業者と地元業者が連携し**共同集配**する事により、絶対的荷物量を確保。集配効率向上を実現し、サービスレベル向上に繋げる。
注：集配送業務を、大手業者が担うか、地元業者が担うかは、共同集配実施が確定した後に検討

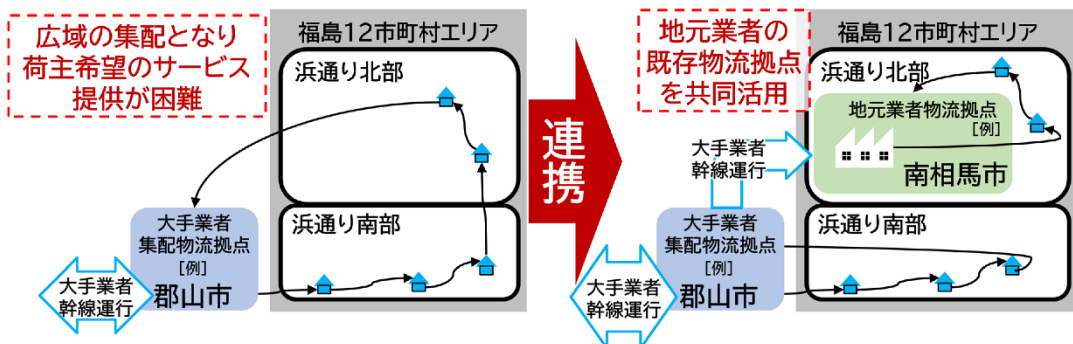
2. 幹線運行での連携の一例



ポイント

大手業者と地元業者が連携し**積合せ幹線**を運行する事により、絶対的荷物量を確保。幹線効率向上を実現し、サービスレベル向上に繋げる。
注：幹線運行業務を、大手業者が担うか、地元業者が担うかは、幹線運行業務実施が確定した後に検討

3. 拠点共同活用での連携の一例



ポイント

大手業者と地元業者が**拠点共同活用**で連携する事により、集配運行効率を向上。サービスレベル向上に繋げる。
※上記の図は、郡山市の拠点に一度輸送し、郡山市の拠点から南相馬市の拠点へ輸送する一例。

問 5. 貴社と、地元業者と連携するためのマッチング要件について

問5-1. 問4-1で『1』に○とお答えになった方は、地元業者と集配物流で連携したい12市町村内エリア、及び品目の属性についてお答えください。

集配物流で 連携したい エリアに○	田村市・南相馬市・川俣町・広野町・檜葉町・富岡町・ 川内村・浪江町・葛尾村・飯舘村・大熊町・双葉町・ その他()				
集配物流で 連携したい 品目の属性	品目種別(※)	輸送時荷姿	温度帯	臭い	汚れ
	例:自動車部品	パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし

※『品目種別』は、同封の品類・品目分類表に記載されている「品目名」を記載願います。

問5-2. 問4-1で『2』に○とお答えになった方は、地元業者と幹線運行で連携したい国内エリア、及び品目の属性についてお答えください。

連携したい 国内エリアを 自由記述					
幹線運行で 連携したい 品目の属性	品目種別(※)	輸送時荷姿	温度帯	臭い	汚れ
	例:自動車部品	パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし

※『品目種別』は、同封の品類・品目分類表に記載されている「品目名」を記載願います。

問5-3. 問4-1で『3』に○とお答えになった方は、地元業者と拠点共同活用で連携したい12市町村内の拠点立地エリアについてお答えください。

拠点立地で 連携したい エリアに○	田村市・南相馬市・川俣町・広野町・檜葉町・富岡町・ 川内村・浪江町・葛尾村・飯舘村・大熊町・双葉町・ その他()
-------------------------	---

問6. 貴社と、地元業者との連携に向けた障壁要因について

問6-1. 問 5 でお答えいただいた地元業者との連携に向け、障壁となる要因について、自由記述でお答えください。

問7. 貴社の事業計画について

問7-1. 今後の、福島12市町村内における事業拡充の予定について、自由記述でお答えください。

例: ××年××月に△△村に新規物流拠点を竣工し、12市町村全域の集配サービス開始を予定している。

★★ご協力ありがとうございました★★

企業名:

住所:

従業員数:

記入者氏名:

記入者部署名:

記入者役職名:

記入者TEL:

問1. 貴社の事業概要について

問1-1. 貴社の保有する車種別のトラック保有台数について、下表にお答えください。

車種	台数	車両設備等の特性(ウイング車・冷凍冷蔵車など自由記述)
小型トラック	台	
中型トラック	台	
大型トラック	台	
トレーラー	台	

問1-2. 貴社が主として取り扱う品目の「分類」と「特性」について、下表にお答えください。

No.	品目種別(※)	輸送時荷姿	温度帯	臭い	汚れ
例	自動車部品	パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
1		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
2		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
3		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
4		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
5		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし

※『品目種別』は、同封の品類・品目分類表に記載されている「品目名」を記載願います。

問1-3. 12市町村内の貴社物流拠点について、下表にお答えください。

No.	市町村	拠点の有無	拠点の住所(町名まで)	設備の概要(敷地面積、屋根の有無、パース構造等)
例	田村市	①・無	田村市船引町船引畑添	敷地面積 100 m ² ・屋根有・高床パース
1	田村市	有・無		
2	南相馬市	有・無		
3	川俣町	有・無		
4	広野町	有・無		
5	檜葉町	有・無		
6	富岡町	有・無		
7	川内村	有・無		
8	浪江町	有・無		
9	葛尾村	有・無		
10	飯舘村	有・無		
11	大熊町	有・無		
12	双葉町	有・無		
13	その他 近隣地域	都市名:		

問 2. 12 市町村※における認識課題について

※田村・南相馬・川俣・広野・檜葉・富岡・川内・大熊・双葉・浪江・葛尾・飯館

問 2-1. 12 市町村内での集配物流における認識課題について、下表にお答えください。

エリアに 関わる課題	例：双葉町など一部配送ができない地域がある。
サービスレベルに 関わる課題	例：荷主から毎日の集荷を求められているが、応えられない。
コストに 関わる課題	例：集配車両の積載率が低く、収益性が悪い。

問 2-2. 12 市町村発着の幹線運行における認識課題について、下表にお答えください。

エリアに 関わる課題	例：山陰エリアへの幹線運行ができていない。
サービスレベルに 関わる課題	例：関西エリアへの幹線運行が毎日運行できず、隔日運行になっている。
コストに 関わる課題	例：幹線車両の積載率が低く、収益性が悪い。

問 2-3. 12 市町村対応の集配物流拠点の立地の認識課題について、自由記述でお答えください。

例：広野町の拠点はああるものの、満庫になっていない。

問 2-4. その他の認識課題について、自由記述でお答えください。

例：ドライバーの人材確保が困難である。

問 3. 大手業者※との連携の希望について

※国内広域に物流サービスを提供している大手物流事業者

問 3-1. 大手業者との連携(集配物流・幹線運行・拠点共同活用・その他の方式)を行うことの希望はありますか? 該当する番号(複数選択可)に○印をつけて下さい。またその理由をご記入ください。

☆☆各々の連携例について、次頁に記載しておりますのでご参考ください☆☆

1. 大手業者と、集配物流での連携を希望する

○をつけた理由:

2. 大手業者と、幹線運行での連携を希望する

○をつけた理由:

3. 大手業者と、拠点共同活用での連携を希望する。貴社保有の物流拠点を共同活用。

○をつけた理由:

4. 大手業者と、その他の方式での連携を希望する(上記1~3以外)

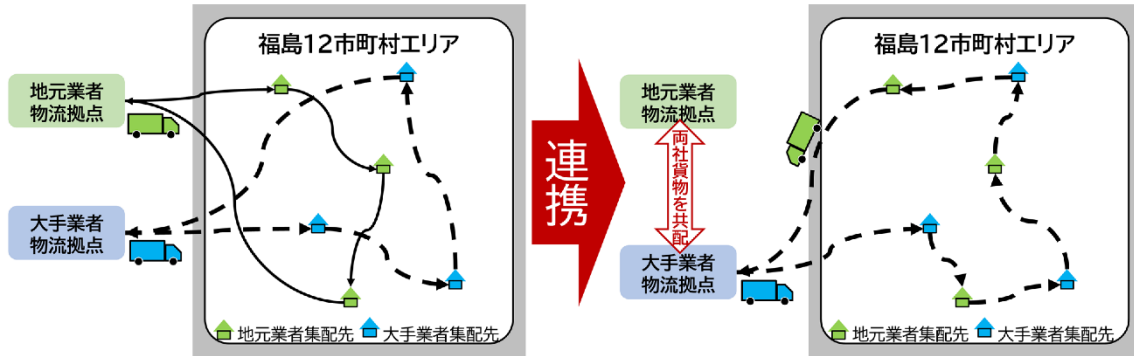
○をつけた場合、連携の内容:

5. 大手業者との連携を希望しない。

○をつけた理由:

参考：連携の一例

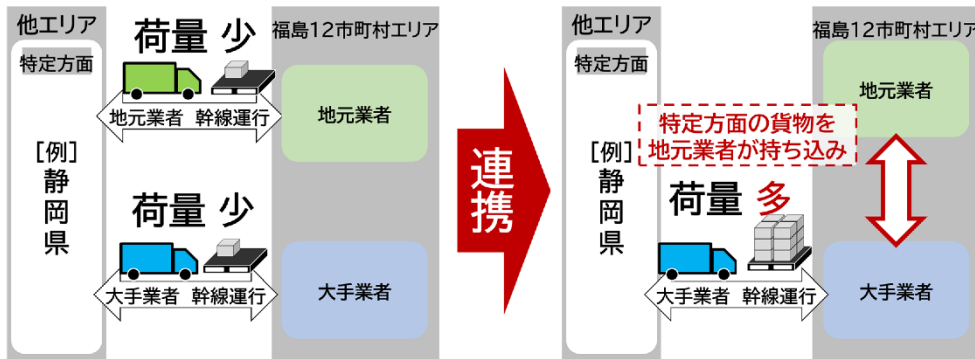
1. 集配物流での連携の一例



ポイント

大手業者と地元業者が連携し**共同集配**する事により、絶対的荷物量を確保。集配効率向上を実現し、サービスレベル向上に繋げる。
注：集配送業務を、大手業者が担うか、地元業者が担うかは、共同集配実施が確定した後に検討

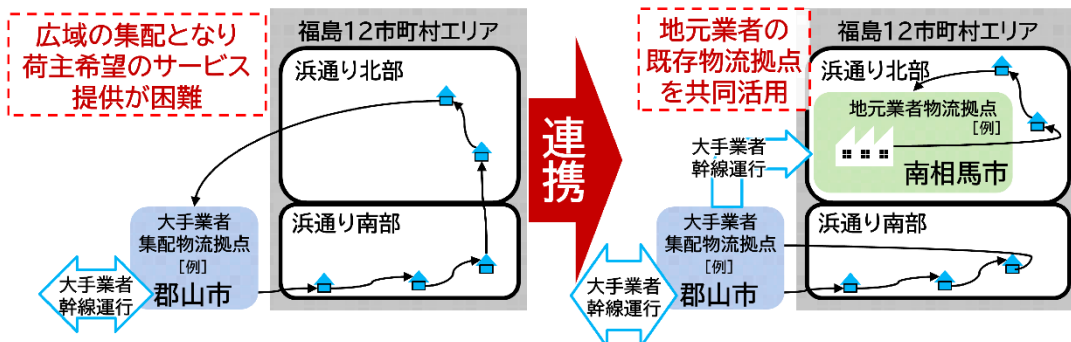
2. 幹線運行での連携の一例



ポイント

大手業者と地元業者が連携し**積合せ幹線**を運行する事により、絶対的荷物量を確保。幹線効率向上を実現し、サービスレベル向上に繋げる。
注：幹線運行业務を、大手業者が担うか、地元業者が担うかは、幹線運行业務実施が確定した後に検討

3. 拠点共同活用での連携の一例



ポイント

大手業者と地元業者が**拠点共同活用**で連携する事により、集配運行効率を向上。サービスレベル向上に繋げる。
※上記の図は、郡山市の拠点に一度輸送し、郡山市の拠点から南相馬市の拠点へ輸送する一例。

問 4. 貴社と、大手業者と連携するためのマッチング要件について

問 4-1. 問 3-1 で『1』に○とお答えになった方は、大手業者と集配物流で連携したい12市町村内エリア、及び品目の属性についてお答えください。

集配物流で 連携したい エリアに○	田村市・南相馬市・川俣町・広野町・檜葉町・富岡町・ 川内村・浪江町・葛尾村・飯館村・大熊町・双葉町・ その他()				
集配物流で 連携したい 品目の属性	品目種別(※)	輸送時荷姿	温度帯	臭い	汚れ
	例:自動車部品	パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし

※『品目種別』は、同封の品類・品目分類表に記載されている「品目名」を記載願います。

問 4-2. 問 3-1 で『2』に○とお答えになった方は、大手業者と幹線運行で連携したい国内エリア、及び品目の属性についてお答えください。

連携したい 国内エリアを 自由記述					
幹線運行で 連携したい 品目の属性	品目種別(※)	輸送時荷姿	温度帯	臭い	汚れ
	例:自動車部品	パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし
		パレット積・バラ積	常温・冷蔵・冷凍	あり・なし	あり・なし

※『品目種別』は、同封の品類・品目分類表に記載されている「品目名」を記載願います。

問 4-3. 問 3-1 で『3』に○とお答えになった方は、大手業者と拠点共同活用で連携できる12市町村内の貴社拠点立地エリアについてお答えください。

拠点立地で 連携したい エリアに○	田村市・南相馬市・川俣町・広野町・檜葉町・富岡町・ 川内村・浪江町・葛尾村・飯館村・大熊町・双葉町・ その他()
-------------------------	---

問 5. 貴社と、大手業者との連携に向けた障壁要因について

問 5-1. 問 4 でお答えいただいた大手業者との連携に向け、障壁となる要因について、自由記述でお答えください。

★★ご協力ありがとうございました★★

品類・品目分類表

品類	品目名		品目コード	内容例
	品目名	品目コード		
農 水 産 品	麦	1011	大麦, 裸麦, 小麦, えん麦, らい麦, 精麦	
	米	1012	もみ, 玄米, 精米, 白米	
	雑 穀 ・ 豆	1013	とうもろこし, 落花生, あわ, そば, 大豆, 小豆, えんどう豆	
	野 菜 ・ 果 物	1021	いも類, 大根, キヤベツ, きのこと, 山菜, わさび, 梅, 栗, みかん, リンゴ, 冷凍野菜, 冷凍果物 (注: 缶詰・びん詰め・ジャムなどの加工品, 梅干し・干し椎茸などの乾燥野菜, 干しぶどうなどの乾燥果物は [その他の食料工業品])	
	羊 毛	1031		
	そ の 他 の 畜 産 品	1032	家畜, 牛肉, 豚肉, 鶏肉, 鶏卵, ペット用動物, はち蜜, 動物の骨, ひづめ, 牛皮, 原毛皮, 蚕, 未加工乳 (注: 牛乳等の乳製品, ハム・ソーセージ等の加工品は[その他の食料工業品], 動植物性残渣は[その他の 産業廃棄物])	
	水 産 品	1041	魚介類 (活魚, 生鮮, 冷凍, 塩蔵, 乾燥もの), 昆布, わかめ, のり, 鑑賞魚, 真珠, さんご (注: かまぼこ, ちくわ等のねり製品, 焼きのり, のりの佃煮, 珍味は[その他の食料工業品], 真珠などを加工 した宝飾品は[衣服・身の回り品])	
	綿 花	1051		
	そ の 他 の 農 産 品	1052	花き, 亜麻, てん菜, 茶, 葉たばこ, 種子, 芝草, むしろ, コーヒー豆, さとくきび, こうぞ, ハーブ	
林 産 品	原 木	2011	製材用原木, パルプ用原木, 足場丸太, 電柱用材	
	製 材	2021	板, 角材, フローリング (注: 合板は[木製品], 木くずは[その他の産業廃棄物])	
	薪 炭	2031	薪, 木炭, 黒炭, 加工炭, かいろ灰, たどん	
	樹 脂 類	2041	天然ゴム, 生松やに, 生うるし, 天然樹脂	
	そ の 他 の 林 産 品	2042	木材チップ, 竹材, 苗木, 果樹, 樹皮	
鉱 産 品	石 炭	3011	石炭, 亜炭, 無煙炭, せん石, 泥炭, 草炭 (注: 石炭がらは[燃え殻], 不良石炭は[鉱さい])	
	鉄 鉱 石	3021	鉄鉱石, 硫化鉄鉱, 磁鉄鉱	
	そ の 他 の 金 属 鉱	3022	マンガン鉱, クロム鉱, 銅鉱, アルミニウム鉱, 砂金	
	砂 利 ・ 砂 ・ 石 材	3031	川砂, 建設用岩石, 庭石, 墓石	
	石 灰 石	3041	(注: 石灰は[その他の窯業品])	
	原 油 ・ 天 然 ガ ス	3051	原油, 天然揮発油, 天然アスファルト, 天然ガス (注: 液化ガスは[LNG・LPG])	
	り ん 鉱 石	3061		
	原 塩	3062	岩塩, ながり	
そ の 他 の 非 金 属 鉱 物	3063	けい砂, 陶土, 耐火粘土, 石粉, ダイヤモンド, めのう, 硫黄, ほたる石, ポーキサイト		
金 属 機 械 工 業 品	鉄 鋼	4011	銑鉄, 粗鋼, 鋼塊, 鋼片, 普通・特殊鋼鋼材, 鋼管, 鍛鋼品, めっき鋼材, 線材, 鋼製品, 針金 (注: 鉄スクラップ, 鉄くずは[金属スクラップ], 鉱さいは[鉱さい])	
	非 鉄 金 属	4021	銅, 鉛, アルミニウム, 銅・鉛などの棒・線材・板, 銅線, アルミニウム線, 電線ケーブル, 光ファイバーケーブル (注: 非鉄金属くずは[金属スクラップ])	
	金 属 製 品	4031	缶 (缶詰用, ビール用など輸送用でないもの), 鉄骨, サッシ, 釘, ボルト, 刃物, 木工道具, ばね, 鋳物, 金属柵, 鍵, 鉄柱, 橋梁, スコップ (注: ドラム缶, 18リットル缶, コンテナ等の輸送用容器は[金属製輸送用容器], 使用済みのスチール缶, アル ミ缶は[金属製容器包装廃棄物])	
	産 業 機 械	4041	ボイラ, エンジン, タービン, 旋盤, 圧延機, エレベータ, クレーン, コンベア, 冷凍機, 業務用エアコン, 破砕機, 紡績機械, 掘さく機, 農業用機械, 印刷機械, 製材機械, 半導体製造装置, ブルドーザ, トラクタ, パルプ類, ボールベアリング, 管継手, 産業用ロボット及びこれらの部品	
	電 気 機 械	4051	発電機, 整流器, 変圧器, 照明器具, 家庭用電化製品, 家庭用エアコン, 電話機, 携帯電話, ファクシミリ, ラジオ, テレビ, ステレオ, DVDプレーヤー, 船舶用・車両用通信装置, パソコン, 液晶ディスプレイ, X線装置, IC, ICカード, 電池, 家庭用テレビゲーム (注: 半導体製造装置は[産業機械], 廃家電は[廃家電])	

品類・品目分類表

品類	品目名		内容例
	品目名	品目コード	
金属機械工業品	自動車	4061	完成車(四輪自動車、自動二輪車) (注：廃自動車は〔廃自動車〕)
	自動車部品	4062	車体、その他自動車部品 (注：エンジンは〔産業機械〕、タイヤは〔ゴム製品〕、カーラー、カーステレオ、カーナビは〔電気機械〕、計器は〔精密機械〕、)
	その他の輸送機械	4071	鉄道車両、船舶、航空機、自転車、フォークリフト、ショベルローダ、ゴルフカート及びこれらの部品 (注：エンジンは〔産業機械〕、計器は〔精密機械〕、通信装置は〔電気機械〕)
	精密機械	4081	計量器、測定機、時計、顕微鏡、望遠鏡、カメラ、デジタルカメラ、光学レンズ、医療用機械 (注：眼鏡・コンタクトレンズは〔その他製造工業品〕、電子顕微鏡は〔電気機械〕)
	その他の機械	4082	事務用機器(電卓、複写機、シュレッダーなど)、自動販売機、信号装置、火災報知機、温湯暖房装置
化学工業品	セメント	5011	各種セメント
	生コンクリート	5021	
	セメント製品	5031	コンクリート製品、セメントモルタル製品、石綿セメント製品 (注：コンクリートくずは〔その他の産業廃棄物〕)
	ガラス・ガラス製品	5041	板ガラス、ガラス棒、ガラス管、理化学用ガラス器具、ガラスビン、ガラス繊維 (注：使用済みのガラスビンは〔使用済みガラスびん〕、ガラスくずは〔その他の産業廃棄物〕)
	陶磁器	5051	磚子、タイル、セラミックブロック、浴槽、便器、ユニットバス (注：陶磁器くずは〔その他の産業廃棄物〕)
	その他の窯業品	5052	レンガ、瓦、石灰、石綿製品、炭素電極、黒鉛製品、耐火ボード、石こう、研磨材、セメント混和剤 (注：廃石膏ボードは〔その他の産業廃棄物〕)
	重油	5061	A重油、B重油、C重油
	揮発油	5071	各種ガソリン、ベンジン
	その他の石油	5081	灯油、軽油、ジェット燃料油、潤滑油 (注：原油は〔原油・天然ガス〕、廃油は〔その他の産業廃棄物〕)
	LNG・LPG	5091	(注：気体天然ガスは〔原油・天然ガス〕)
	その他の石油製品	5092	石油アスファルト、石油コークス、LNG・LPG以外の液化ガス、グリース、ワセリン
	コークス	5101	コークス、コーライト
	その他の石炭製品	5102	煉炭、豆炭、ピッチコークス
	化学薬品	5111	ソーダ、硫酸、アンモニア、カーバイド、無機工業薬品、ベンゾール、ナフタリン、テレピン油、しょう油、さく酸、しゅう酸、メタノール、エチルアルコール、高圧ガス
	化学肥料	5121	硫安、りん肥、カリ質肥料、配合肥料、化成肥料
	染料・顔料・塗料	5131	合成染料、有機・無機顔料、油性塗料、メラニン、カーボンブラック、エナメル、ラッカー
	合成樹脂	5141	ウレタン樹脂、ポリエチレン、ポリビニルアルコール、プラスチック、合成ゴム (注：プラスチック製品は〔その他製造工業品〕、廃プラスチックは〔廃プラスチック類〕、使用済みのペットボトル、使用済みのプラスチック製容器は〔その他容器包装廃棄物〕)
	動植物性油脂	5151	牛脂、乳脂、魚油、大豆油、菜種油、オリーブ油、ひまし油、硬化油、ろうそく、脂肪酸
その他の化学工業品	5161	化粧品、医薬品、石ケン、洗剤、写真感光材料、火薬、農薬、殺虫剤、印刷インキ、接着剤	
軽工業品	パルプ	6011	製紙パルプ、溶解パルプ
	紙	6021	洋紙、板紙、和紙、新聞用紙、ちり紙、建材原紙、かべ紙、段ボール原紙、ふすま紙、繊維板 (注：紙製品は〔文房具・運動娯楽用品〕、古紙は〔古紙〕、紙くずは〔その他の産業廃棄物〕)
	糸	6031	化学繊維糸、綿糸、撚糸、紡織半製品(綿紡織・化学繊維紡織など)、より糸、麻糸、毛糸、絹紡撚糸 (注：繊維くずは〔その他の産業廃棄物〕)
	織物	6041	ニット生地、化学繊維織物、綿織物、その他の織物、繊維二次製品(レース、製綿、漁網など) (注：繊維くずは〔その他の産業廃棄物〕)
	砂糖	6051	粗糖、上白糖、糖みつ、水あめ、氷砂糖、黒糖
	その他の食料工業品	6052	牛乳、ヨーグルト、バター、アイスクリーム、小麦粉、食塩、みそ、香辛料、ハム・ソーセージ、めん類、パン、菓子、製茶、缶詰・ビン詰食品、調味料、豆腐、漬物、佃煮、こうじ、寒天、弁当、寿司、冷凍食品、レトルト食品、切り餅、氷、たばこ (注：サラダ油、マーガリンなどの油脂製品は〔動植物性油脂〕)
	飲料	6061	ビール、清酒、洋酒、清涼飲料水、ミネラルウォーター、茶飲料

品類・品目分類表

品類	品目名		内容例
	品目名	品目コード	
雑工業品	書籍・印刷物・記録物	7011	新聞、書籍、地図、その他の印刷物、レコード、記録済みの磁気テープ・フロッピーディスク・DVD、記録フィルム、その他の記録物
	が ん 具	7021	各種がん具、人形、ぬいぐるみ (注：家庭用テレビゲームは〔電気機械〕)
	衣服・身の回り品	7022	下着、外衣、和服、スポーツウェア、毛皮製品、寝具(ふとん、毛布、枕など)、帽子、靴下、じゅうたん、カーペット、テーブルカバー、タオル、ハンカチ、かばん、傘、扇子、靴、スリッパ、指輪などの宝飾品
	文房具・運動娯楽用品	7023	筆記用具、墨、鉛筆削り、製図器、紙製品(ノート、アルバム等)、事務用接着剤、運動競技用品、絵画用品、室内娯楽用品、パチンコ台、楽器
	家具・装備品	7024	たんす、棚、テーブル、ベッド、電動ベッド、金庫、仏具神具、ロッカー、キャビネット(注：建具は〔木製品〕)
	その他の日用品	7025	温水器、温風ヒーター、石油ストーブ、ほうき、バケツ、家庭用調理器具・食卓用品(ボール、なべ、オープン、レンジ、食器、盆、ポット等)、洗濯ばさみ、歯ブラシ、紙おむつ、ライター、マッチ、かつら、くし、ファスナー、ボタン、絵画、骨董品
	木 製 品	7031	単板、合板、積層板、新材材、建具、ベニヤ板、マッチ軸木、木毛、コルク製品、チップボード
	ゴ ム 製 品	7041	ゴムタイヤ、チューブ、ゴムホース、ゴムベルト、工業用ゴム製品、医療用ゴム製品 (注：廃タイヤ、ゴムくずは〔その他の産業廃棄物〕)
	その他の製造工業品	7042	皮革製品(牛革等)、すだれ、畳表、造花、マネキン人形、医療用品(ガーゼ、脱脂綿、治療器具等)、くわ、おの、漁具、つり具、救命具、ヘルメット
排出物 (使用済み製品、循環資源、産業廃棄物)	廃自動車	8011	使用済みの自動車(注：解体した自動車及び同部品は個々の該当する品目に分類)
	廃家電	8012	使用済みの家電製品
	金属スクラップ	8013	有価の金属くず(鉄くず、鉄スクラップ、アルミくず、アルミスクラップ、銅くず、銅スクラップ) (注：無価の金属くずは〔その他の産業廃棄物〕)
	金属製容器包装廃棄物	8014	使用済みのスチール缶、アルミ缶
	使用済みガラスびん	8021	使用済みのガラスびん
	その他容器包装廃棄物	8022	使用済みのペットボトル、プラスチック製容器、飲料用紙パック、段ボール製容器、その他紙製容器(紙箱、紙袋、包装紙)
	古紙	8023	製紙原料故紙、古紙、使用済み段ボール (注：紙くずは〔その他の産業廃棄物〕)
	廃プラスチック類	8024	合成樹脂くず(ポリウレタン、スチロール、包装材料、合成皮革)
	燃え殻	8031	石炭がら、焼却炉の残灰、炉清掃排出物、クリンカー、廃活性炭、廃カーボン
	汚泥	8032	有機性汚泥(排水処理汚泥、余剰汚泥)、無機汚泥(鍍金汚泥、研磨汚泥、砂利洗浄汚泥、洗浄汚泥)
	鉱さい	8033	高炉、転炉、電気炉などの残さい、不良石炭、粉炭かす、廃鋳物砂
	ばいじん	8034	[大気汚染防止法に定める煤煙発生施設又は焼却施設で発生するばいじんであって、集じん施設によって集められたもの]
	その他の産業廃棄物	8035	廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、無価の金属くず、ガラスくず、レンガくず、コンクリートくず、廃石膏ボード、陶磁器くず、ゴムくず、合成ゴムくず(廃タイヤ、パッキンくず、ライニングくず、固形ラテックス)、動植物性残渣、その他の産業廃棄物(印刷インキかす、ラッカーかす、塗料かす、接着剤かす) (注：有価の金属くずは〔金属スクラップ〕)
特殊品	動植物性飼肥料	9011	骨粉、魚粉、肉粉、牧草、配合飼料、まぐさ、たい肥、酒かす、大豆かす、ぬか、ふすま
	金属製輸送用容器	9021	コンテナ、ドラム缶、石油缶、ボンベ
	その他の輸送用容器	9031	段ボール箱、木箱、紙袋、麻袋、ざる、たる (注 使用済みの段ボール製容器、その他紙製容器は〔その他容器包装廃棄物〕)
	取り合せ品	9041	各種商品積合せなど

2-2 「出会いの場」の開催結果

本項では、平成30年12月に開催した「出会いの場」の開催結果を記載する。

① 「出会いの場」とは

「出会いの場」とは、福島県浜通り地域等の物流に関わる様々な悩みを持っている物流事業者に集まっていただき、**連携のための「キッカケ」を創っていただく場**である。

前項で示したアンケートに「出会いの場」開催案内を同封し、参加募集を行った。

② 「出会いの場」の実施概要

実施概要は以下の通り。

- ・開催日時：平成30年12月10日（月）13時～15時
- ・主催：復興庁・福島県トラック協会様
- ・開催場所：福島県トラック協会 白河の関トラックステーション
- ・参加社数：大手業者 4社（5名） 地元業者 6社（10名）
合計 10社（15名）

③ 「出会いの場」のマッチング結果

「出会いの場」では、全参加業者が出会いをした結果、合計10組の成立となった。その内訳を図表2-2-1に示す。

10組の出会いのうち、連携領域では「集配で連携」が8組、「幹線で連携」が2組で、「集配で連携」ニーズの高さが伺える結果となった。

また、大手業者と地元業者の連携が主であったが、地元業者同士での連携も見られた。

連携領域		大手業者	地元業者
集配で連携	1	□ A社	■ b社 ■ c社
	2		■ b社
	3		■ c社
	4		■ d社
	5	□ B社	■ b社
	6		■ f社
	7	□ C社	■ a社
	8	□ D社	■ b社
幹線で連携	9	□ C社	■ a社
	10		■ b社・e社 地元業者間の連携

図表2-2-1 マッチング結果

これら10組について、各社間での検討の状況を大手業者軸で整理する。

大手A社

地元業者3社と集配連携で4組マッチング。

まずは、A社にて地元業者との連携時の青写真の作成から開始。

連携実現の可否も含め、両社間で詳細検討中。

大手B社

地元業者2社と集配連携で2組マッチング。

地元業者から見積もりを受け取り、金額の調整と併行して与信の審査など準備を実施中。

大手C社

地元業者1社と集配連携及び幹線連携で2組マッチング。

詳細調整中。

大手D社

地元業者1社と集配連携で1組マッチング。

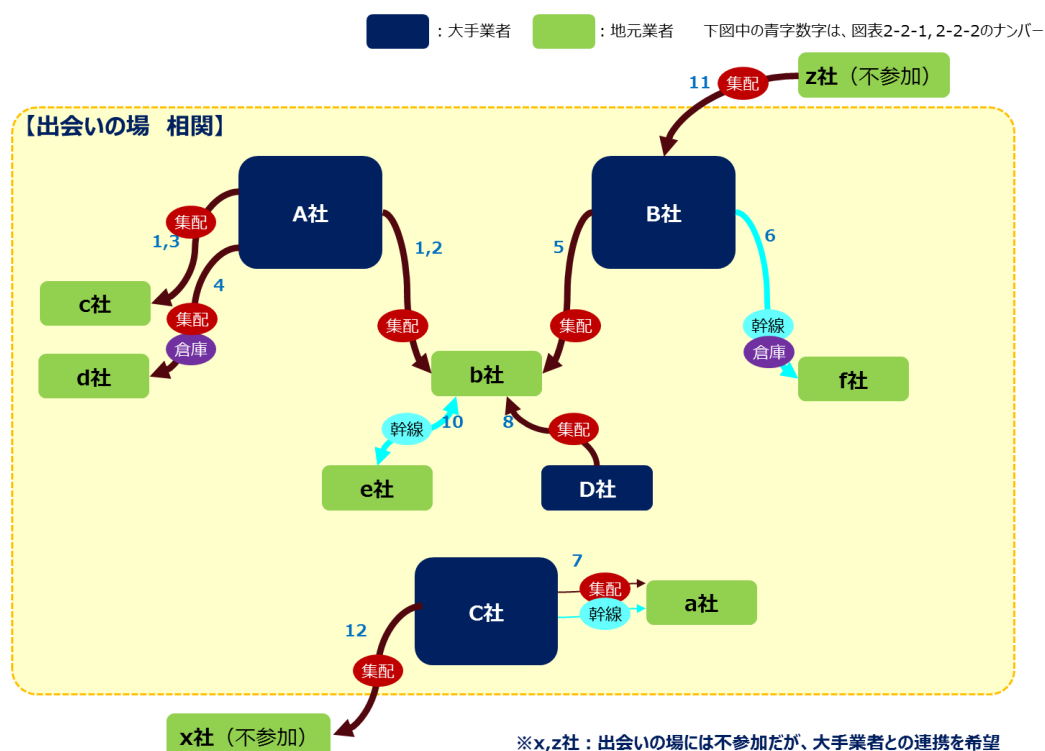
詳細調整中。

さらに、出会いの場に出席できなかった地元業者の連携希望を、大手業者に配布し、連携に向けた可能性がある地元業者をノミネートした。

連携領域		大手業者	地元業者
集配で連携	11	□ B社	■ Z社
	12	□ C社	■ X社

図表 2-2-2 地元業者の連携希望に対するマッチング結果

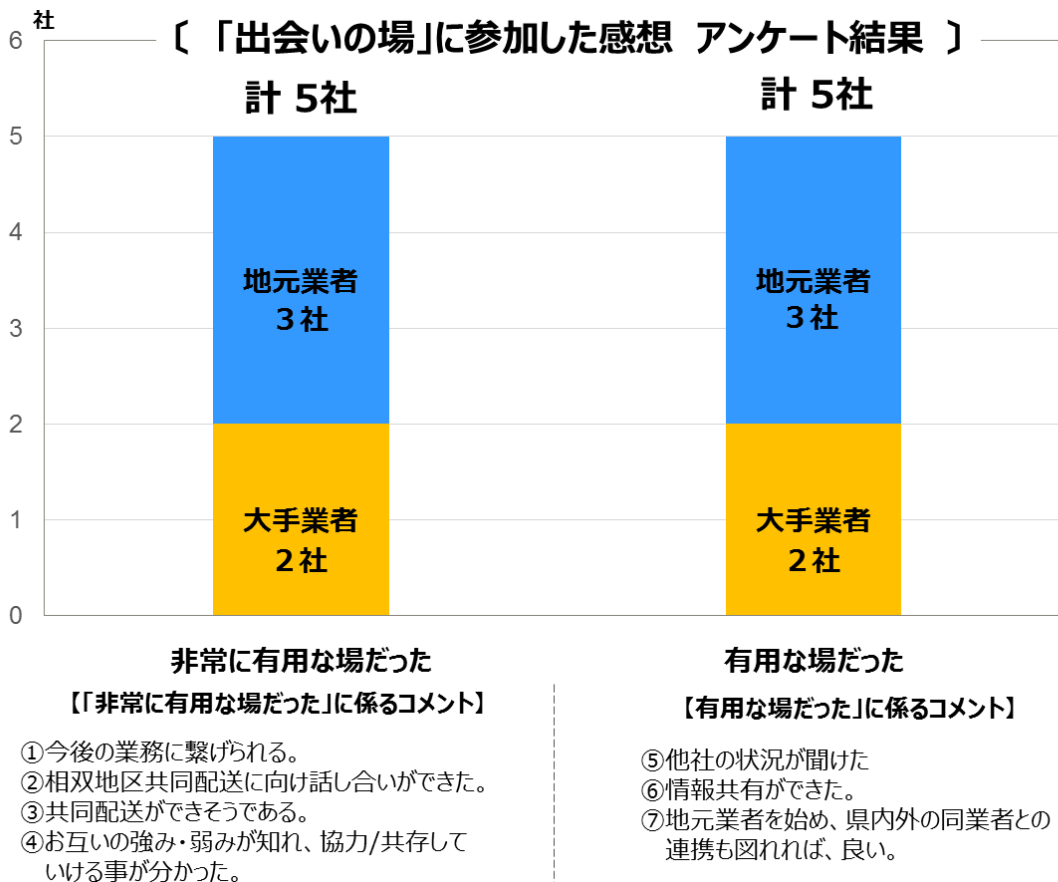
これら 10 組の出会いと 2 組の連携希望について、図表 2-2-3 に相関図を整理した。



図表 2-2-3 出会いの場 相関図

着目すべきは、図表 2-2-3 の中心にある地元業者b社である。b社は、大手業者 A 社、B 社、D 社の3社から、集配での連携を希望されている。その理由は、b社が出会いの場において車両の空いている時間帯（集配可能な時間帯）を示したことで、大手業者が連携に向けた検討をしやすかったからと言える。

最後に、出会いの場の参加業者に対し、「非常に有用な場だった」「有用な場だった」「あまり有用ではなかった」「有用ではなかった」の4段階で感想を伺った。その結果、図表2-2-4に示す通り、全ての業者から「非常に有用な場だった」、「有用な場だった」のいずれかの評価を得た。



図表2-2-4 出会いの場 アンケート結果

具体的には、①今後の業務に繋がられる、③共同配送ができそうである、という感想に加え、今後の要望として⑦地元業者を始め、県内外の同業者との連携も図れれば良いといった、前向きな感想があった。

ご参考：当日の様子

《意見交換タイムの様子》



《成立したマッチングの確認の様子》



平成 30 年 11 月 5 日

アンケート依頼企業各位

復興庁
福島県トラック協会

“出会いの場”開催のお知らせ ～浜通り地域の物流最適に向けて～

貴社、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

福島復興に向けましては、日頃よりご尽力いただきまして、御礼申し上げます。

さて、復興庁と福島県トラック協会では、このたび、福島浜通り地域における物流課題解決に向け、下記のとおり”出会いの場”を開催させていただきます。

“出会いの場”とは、福島浜通り地域の物流に関わる様々な課題やお悩みをお持ちの物流事業者の皆様方にお集まりいただき、忌憚なく意見交換を行っていただくとともに、物流課題解決に向けた“キッカケ”を創っていただく場と考えております。

ご多忙の折、まことに恐縮ではございますが、是非ともご参加をご検討いただけますと幸いです。

記

1. 出会いの場とは？

福島浜通り地域における物流には、一部地域への集配送が行われていない、あるいは、従来通りの条件で配送サービス維持が困難になっているなど、解決しなければならない課題が様々にあります。

これら課題解決に向けては、荷主企業様との連携も当然重要ですが、福島浜通り地区で運送を担われている物流事業者様同士が連携し、解決への方策をご検討いただく事も重要なことのひとつです。

そこで、日ごろ、皆さま方が感じておられる福島浜通り地域の様々な物流課題について、意見交換及び情報共有を行っていただくとともに、それを通じてともに物流課題解決に取り組むパートナー企業を探す場として、”出会いの場”を開催致します。

2.日 時 12月10日(月) 13時から15時(2時間程度)

3.場 所 福島県トラック協会「白河の関トラックステーション」研修ホール

(住所:福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字夏針 15-1)

4.当日の内容 ■参加企業のプロフィール紹介

■参加企業間のフリートーク

※進行役の富士通総研が、全体ファシリテートさせていただきます。

5.参加申し込み 添付「参加申込書」に必要事項を記載のうえ、事務局 富士通総研宛に同封の返信封筒で郵送。

締め切り日:11月26日(月)までにご投函をお願い致します。

6.お問合せ先 (株)富士通総研 03-5401-8394 担当:沖原・亀廻井・勝村

※同封いたしました「アンケート」につきましても、お手数をおかけし恐縮ですが、是非ともご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願ひいたします。

以上

事務局 富士通総研 沖原・亀廻井・勝村 宛

11月26日(月)までに投函ください

“出会いの場” 参加申し込み

下記により申し込みます。

記

1. 貴社名：
2. ご出席（ご出席代表者について、ご回答ください。）
 - 所属部署名：
 - お名前：
 - 役職：
3. ご出席合計人数：
4. 下の質問にご回答ください。
 - ・ご回答頂いた内容は、当日配布させていただく「参加企業一覧表」に掲載いたします。
 - ・同封のアンケートと重複する部分もありますが、ご了承下さい。

浜通り地域の輸送を担う 営業所の所在地(町まで)	
主な取り扱い品目	
認識している物流課題 該当にするものに○ 複数回答可	<input type="checkbox"/> 1. 荷主が望むコストで集配物流／幹線運行ができない <input type="checkbox"/> 2. 荷主が望むサービスレベルで、集配物流／幹線運行できない <input type="checkbox"/> 3. 荷主が望むエリアに、集配物流／幹線運行できない
現状の運行状況 該当にするものに○ 複数回答可	<input type="checkbox"/> 4. 浜通り地区で集配できないエリアがある。 <input type="checkbox"/> 5. 浜通り地区で、条件付き集配をしているエリアがある。 <input type="checkbox"/> 6. 浜通り地区発の幹線で、お届けできない国内エリアがある。
他の物流事業者との連携 ～共配/拠点共同活用等～ 該当にするものに○ 複数回答可	<input type="checkbox"/> 7. 浜通り地区の集配物流で連携したい。 <input type="checkbox"/> 8. 浜通り地区発着の幹線運行で連携したい。 <input type="checkbox"/> 9. 浜通り地区の物流拠点の共同活用で連携したい。
注：同封「福島県浜通り地域における物流問題解決に向けた調査事業アンケート」にイメージを記載しておりますので、参考下さい	
その他 自由記述欄	

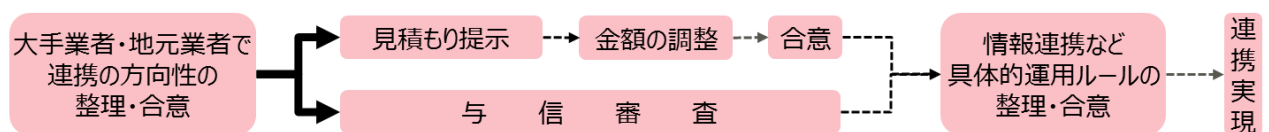
※注：個人情報の取り扱いについて、裏面をご確認ください※

2-3 実態調査の総括

アンケート調査結果、及び出会いの場の開催を踏まえて、大手業者と地元業者の具体的連携の検討項目を、総括する。

- A. 大手業者の「集配委託協力会社(=地元業者)」を充実させる検討が必要である。
- その①：大手業者 自社拠点発着の「委託協力会社」を増強させる検討
連携できる地元業者を求める大手業者のニーズが高いことから、大手業者が連携できる地元業者を増強させる検討。
 - その②：大手業者・地元業者間の拠点共同活用も視野に入れたリレー輸送ネットワークなどを構築させる検討
大手業者の集配サービスレベルを向上させるニーズが高いことから、地元業者の拠点活用も視野に入れたリレー輸送ネットワークの構築を検討。
- B. 大手業者と地元業者との連携で、共同配送の仕組みを構築させる検討が必要である。
物流子会社の既存ネットワークに組み込むなど、12市町村荷主企業の集配貨物を既存の輸送ネットワークに組み込む検討。

なお上記 A、及び B の検討を進めるステップを図表 2-3 に示す。



検討項目の詳細は、「第 3 章 大手業者と地元業者の具体的連携の検討」で説明する。

第3章 大手業者と地元業者の具体的連携の検討

本章では、大手業者と地元業者の具体的連携に向けて検討した詳細を説明する。

3-1 大手業者 自社拠点発着の「委託協力会社」を増強させる検討

先ず検討して頂いた事業者を紹介する。

【検討頂いた企業のプロフィール】

◆大手業者

いわき市に営業所を構える大手特別積み合せ業者。

但し12市町村集配で、集配不可/配送日時指定不可エリアあり。(広野町など)

12市町村物流課題解決に向け、荷主企業に対する物流サービス向上を、最大の解決課題と位置づけ、現在、取組み中。

この点から、集配を手伝ってくれる地元業者が欲しいと探している。

◆地元業者

現保有車両の空き時間帯(午前)に活用してくれる大手業者を探している。

新規売上げ獲得とともに、復興に向けた貢献をしたい。

上記プロフィールを踏まえ、両社のニーズが合致し検討に到っており、現在、実現に向けて両社で詳細な調整中である。

ご検討頂いた具体的な連携内容は、次の通り。

【具体的な連携内容】

- 地元業者の車両を大手業者が、チャーターとして傭車し、午前中集配車両として活用。
- 委託エリアは、日々の状況に応じ、双葉郡全域。



なお、連携の検討にあたっては、次の事項を主に検討頂いた。

- ◆ 大手業者の集配貨物確定タイミングと、地元業者の車両提供可否確定タイミングの時間的差異を埋める検討。
- ◆ 地元業者の車両は箱車であり、一方、大手業者は、ウイング車での荷扱い作業を前提としていることから、荷扱い作業に関する検討。

3-2 大手業者・地元業者間の拠点共同活用も視野に入れたりリレー輸送ネットワークなどを構築させる検討

先ず検討して頂いた事業者を紹介する。

【検討頂いた企業のプロフィール】

◆大手業者

南相馬市に営業所構える大手特別積み合せ業者。

但し、南相馬市の北寄りに営業所を構えている事もあり、12市町村集配で十分な物流サービスを提供できない課題を持っている。

物流サービス向上に向けて、現在、取組み中。

◆地元業者

南相馬市の南寄りに自社倉庫を保有。但し、この自社倉庫が、現在、空いており使ってくれる荷主、あるいは物流事業者を探している。

この自社倉庫の有効活用と、自車両活用の双方を視野に入れ、復興に向け貢献したい。

上記プロフィールを踏まえ、両社のニーズが合致し検討に到っている。

ご検討頂いた具体的な連携内容は、次の通り。

【連携内容】

- 大手業者 南相馬営業所から、地元業者の自社拠点までの横持ち幹線便を運行。
- 大手業者の既存協力会社も含め、地元業者の自社拠点を、12市町村集配ハブ拠点として活用



なお、連携の検討にあたっては、次の事項も視野に入れ、検討して頂いた。

- ◆大手業者の南相馬営業所は、同社の他の2箇所の営業所から、幹線入荷をしている。

注：国内営業所から、南相馬営業所への直納幹線はなし

場合によっては、本取組み実現に向け、幹線ネットワークの見直しも生じる事もある。

3-3 物流子会社の既存輸送ネットワークに組み込みをさせる検討

まずは検討して頂いた事業者を紹介する。

【検討頂いた企業のプロフィール】

◆**大手業者**

いわき市に工場を構える大手製造業の物流子会社。本工場から、製品を全国に出荷。

◆**地元業者**

上記物流子会社の福島県内を中心に福島県近辺の配送を担う協力会社。

12市町村荷主企業が抱える物流課題解決に向け、是非とも協力させて頂きたい。

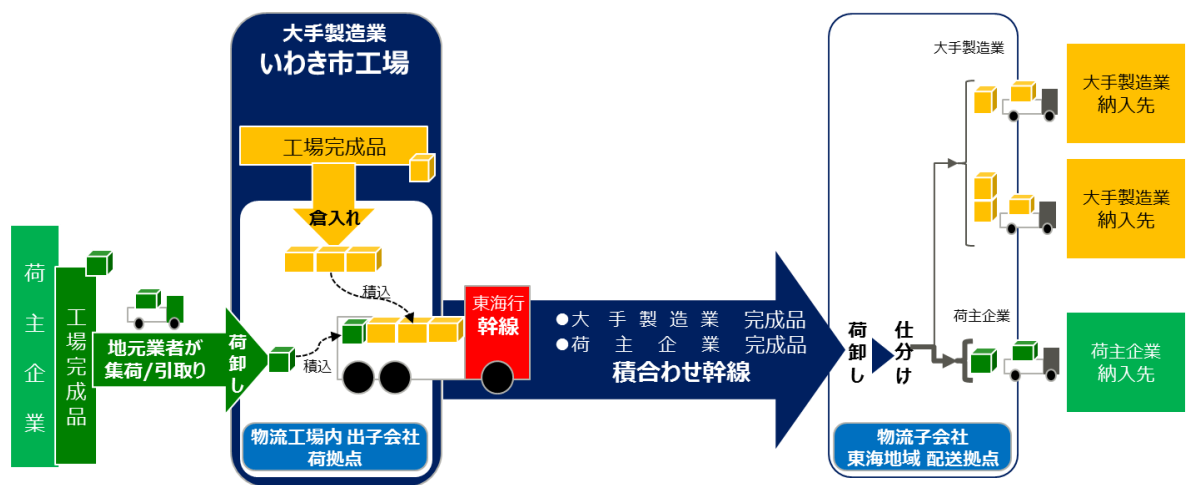
※なお、地元業者が「東海地域への出荷に関する物流コスト削減」を緊急課題としている、とある「荷主企業」の困りごとを聞きつけ、その課題解決のために、下記の連携内容で検討に至っている。

【連携内容】

● 物流子会社の東海向け定期幹線の空きスペースに、荷主企業の完成品を混載。

● 荷主企業への集荷は、福島県地元業者が対応。物流子会社の出荷拠点まで持ち込む。

● なお、東海地区の配送は、物流子会社の東海地域の協力会社が担当。



なお、連携の検討にあたっては、次の事項も視野に入れ、検討して頂いた。

- ◆ 大手製造業いわき市工場の東海行き幹線輸送の発時刻に、同工場への荷主企業の製品の持ち込み時刻を合わせるための検討。
- ◆ 東海地域における配送ネットワークの見直しの実施を行うかどうかの見極め。

第4章 まとめ

4-1 大手業者・地元業者の連携に向けた「課題」と「解決策」の洗い出し

『大手業者と地元業者の連携に向けた「課題」と「解決策」』を洗い出す全体像を、図表 4-1-1 に示す。



図表 4-1-1 大手業者と地元業者の連携に向けた「課題」と「解決策」を洗い出す全体像

整理領域① 連携に向けた検討を活性化

- ◆ 今回のアンケート調査で、連携を希望しなかった大手業者又は地元業者が、連携を希望しない理由として、どのような回答しているか洗い出し、整理
- ◆ 有志企業へのインタビューを通じ、前項で洗い出した内容ごとに、当該企業が解決に向け取り組んでいる内容を、「解決策」として整理

整理領域② 連携に向けた検討を進める中で、マッチングを成約

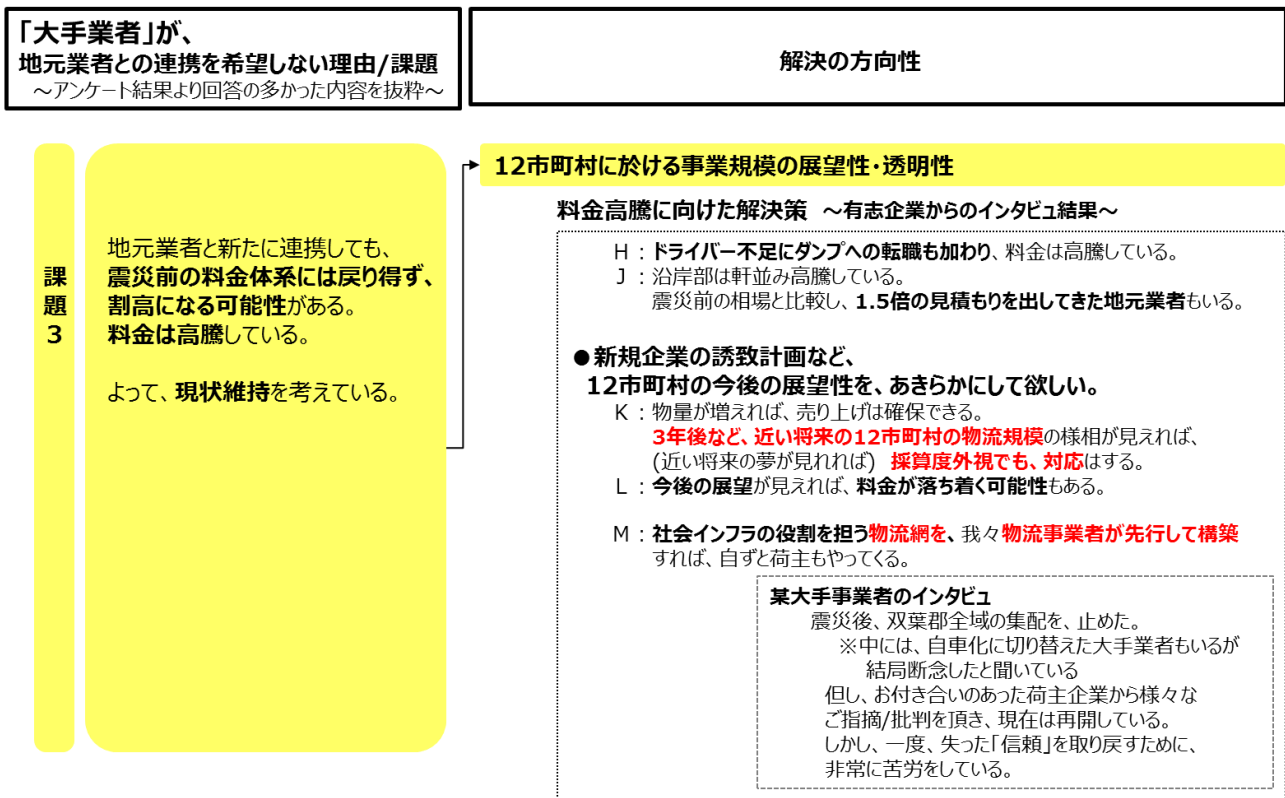
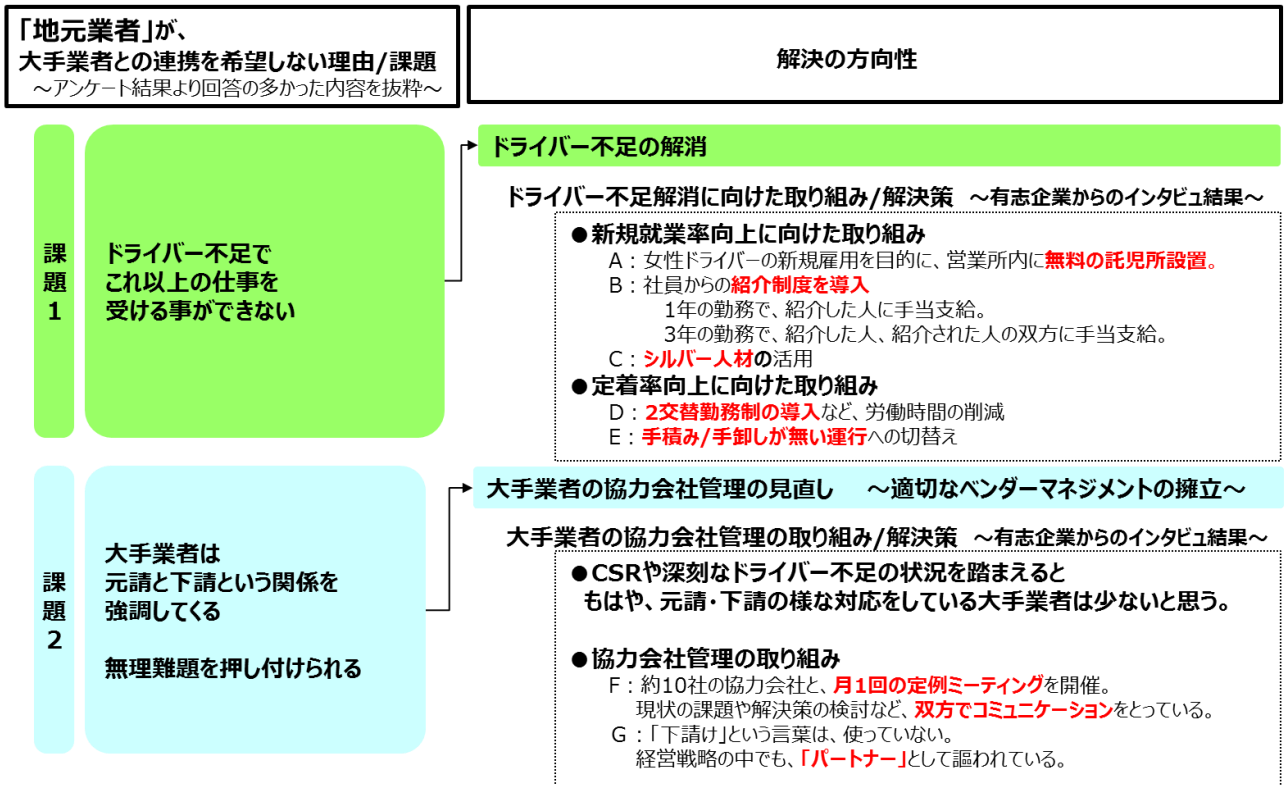
- ◆ 「第 3 章 大手業者と地元業者の具体的連携の検討」の項目を対象に、実現に向けた調整を進める中で生じた「課題」、及びその「解決策」を洗い出し、整理

整理領域③ 大手業者・地元業者の連携を更に拡充

- ◆ 大手業者と地元業者の連携をさらに拡充させるためのポイントを、有志企業のインタビューを通じて洗い出し、整理

以降、それぞれの内容について説明する。

整理領域①：連携に向けた検討を活性化※させるためには、どうすれば良いのか？
 ※検討して頂く「組合せ企業数」を増加



整理領域②：連携に向けた検討を進める中でマッチングを成約させるためには、どうすれば良いか？

両社合意に到るまで苦労した事項	解決の方向性
<p>課題 4</p> <p>具体的に「運用ルール」を調整する際、各社の現状の運用を見直す必要があり、合意に到るまで時間がかかる。</p>	<p>大手業者・地元業者の両社が、それぞれ、現状の時間軸の見直し</p> <p>N：両社で、現状の荷役作業も含めた作業時間軸の見直し余地を検討。両社での歩み寄りを検討した。</p> <p>大手業者が、地元業者の車両仕様に合わせた「積卸し作業」に変更 地元業者の車両仕様に応じ、大手業者の積卸し作業要領を柔軟に変更</p> <p>P：大手業者は、積卸し作業の効率化を念頭に、ウイング車を希望。但し、地元業者の車両は、ウイング車で無いため、大手業者が、車両後ろからの積卸しで対応。大手業者が、歩み寄り。</p>
<p>課題 5</p> <p>地元業者からの見積もりが大手業者の想定運賃と比較し高い場合もあり、両社間での金額調整に時間がかかる。</p>	<p>大手業者が地元業者に対して、希望運賃を提示</p> <p>大手業者の希望運賃を先行して提示。地元業者との金額調整の早期化を図る</p> <p>Q：大手業者の相場運賃が分からないので、見積もりが作成できない。本来は地元業者からも見積もりを提示すべきであるが、大手業者から、希望運賃を提示してもらう手順で対応。</p>

整理領域③：大手業者・地元業者の連携を更に拡充させるためには、どうすれば良いか？

拡充に向けた懸念事項	解決の方向性
<p>課題 6</p> <p>連携を拡充したくともそもそも、他の運送事業者と出会う機会がない。</p>	<p>「12市町村内の求貨求車システム」の導入で、運送事業者との出会いを創出</p> <p>R：他の運送事業者との連携を進めたいが、そもそもチャネルがなく知り合う機会がない。12市町村内を対象とした「求貨求車システム」があれば、運送事業者と出会うキッカケとなるのではないかと。もちろん、登録し得る十分な情報量があるか否かの検証は必要であるが…</p> <p>S：以前は、大手事業者との付き合いがあったものの、今はない。</p> <p>他者の紹介を通じて、運送事業者の出会いを創出</p> <p>T：荷主経由で運送事業者を紹介してもらう事もある。 U：福島県トラック協会に運送事業者を紹介してもらう事がある。</p>
<p>課題 7</p> <p>荷主企業との出会いの重要。但し、荷主企業と出会う機会もない。</p>	<p>「運送事業者」と「荷主」の“出会い場” ～12/10開催の“出会いの場”の進化版～</p> <p>V：荷主と運送事業者が、出会い、コミュニケーションがとれる場が欲しい。</p> <p>W：工業団地に新規に誘致した荷主企業を紹介してもらうため定期的に役場に顔を出している。連絡先を教えて貰っている。</p>

4-2 1 2市町村物流課題解決に向けた その他取組み

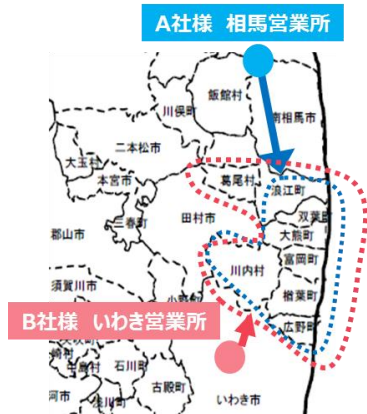
本事業は、「大手業者と地元業者を個々にマッチング」させる地道な取組みである。この地道な取組みは、12市町村の物流課題解決に向け、必要な不可欠なプロセスではあるものの、非常に時間がかかる取組みでもある。

一方、12市町村の物流課題解決は喫緊に解決しなければならない課題であることから、早急に解決できる取組みも、並行して実施する事が望ましいと考えた。

そこで、複数の大手業者が12市町村の物流で連携し、特定の大手業者に荷量を集約させる可能性について、検討をした。

検討に参加頂いた大手業者は、下記の通り。

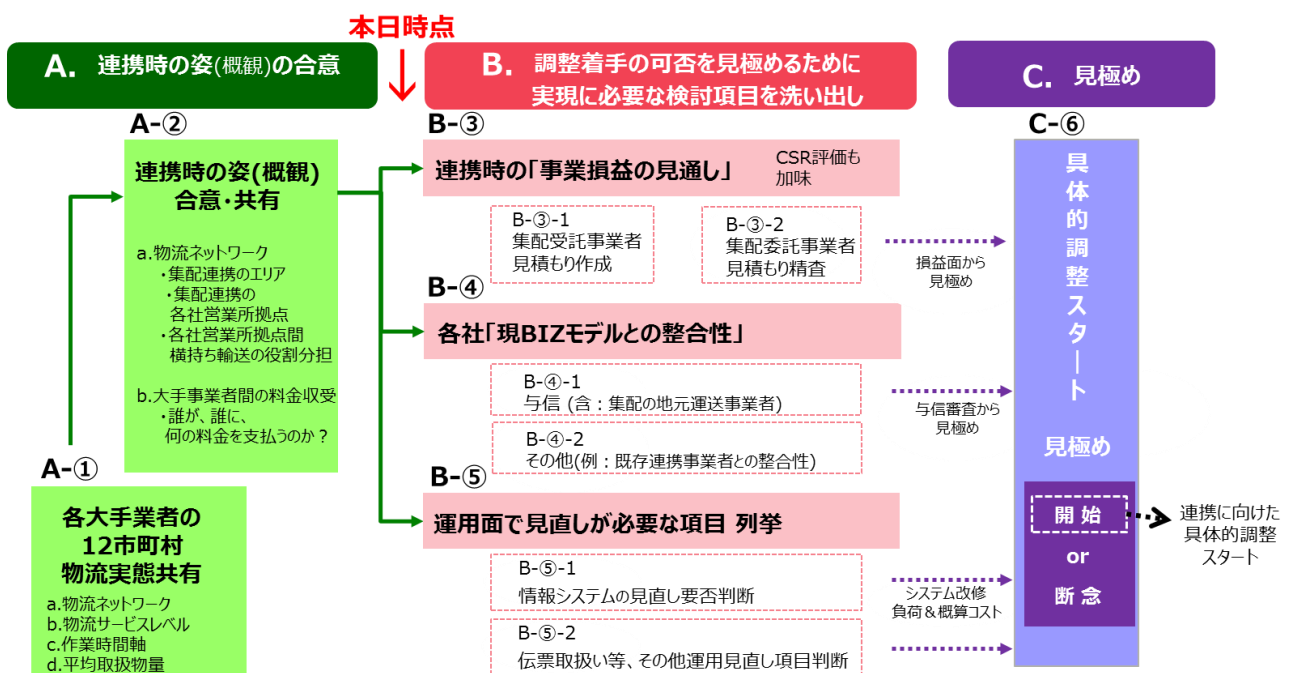
- A社様** : 「相馬市」の営業所を主として、
12市町村向け集配を対応
- B社様** : 「いわき市」の営業所を主として、
12市町村向け集配を対応



また検討に際して基本的な考え方は、次の通り。

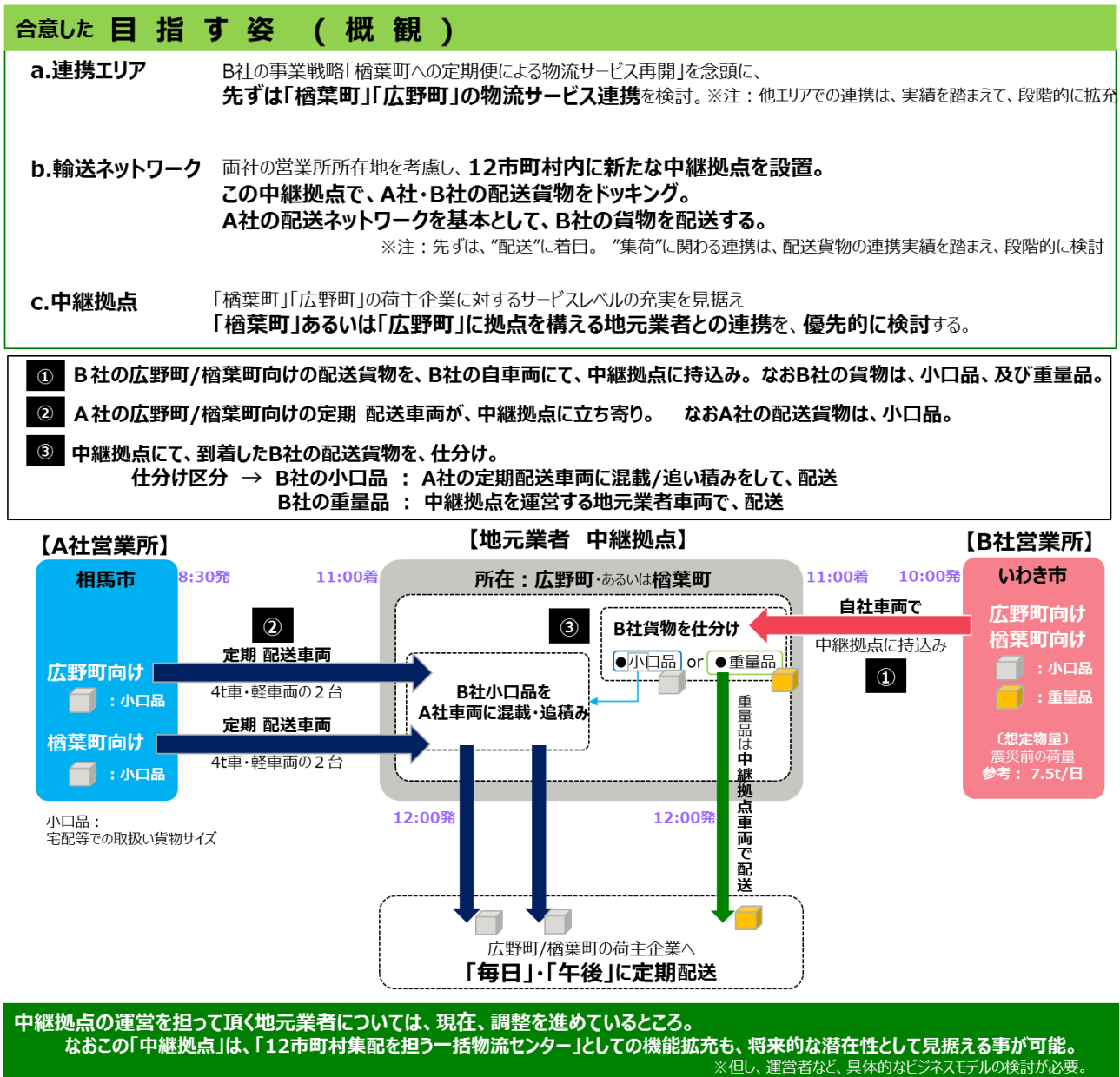
- 将来的に、他の大手事業者も巻き込んだ連携に発展し得る可能性も、見据える。
※「モデルケースを創る」というビジョンに則って、検討を展開。
- 復興庁事業の目的、更には福島県地元企業の活性化も見据え、「地元業者の活用/連携」も考慮した検討を展開する。
※大手業者の自車両のみでクローズする”枠組み”で考えない。

なお検討は、現在も続いており、現時点の進捗は、図表 4-2-1 の検討の進め方に示す通りである。



図表 4-2-1 検討の進め方

なお現時点で合意した連携時の姿(概観)を、図表 4-2-2 に示す。



図表 4-2-2 連携時の姿(概観)

なお現在は、中継拠点の運営を担って頂く地元業者を、大手業者と連携して調整中である。
 またこの「中継拠点」は、「12市町村集配を担う一括物流センター」としての機能拡充も、
 将来的な潜在性として見据えている。

以上